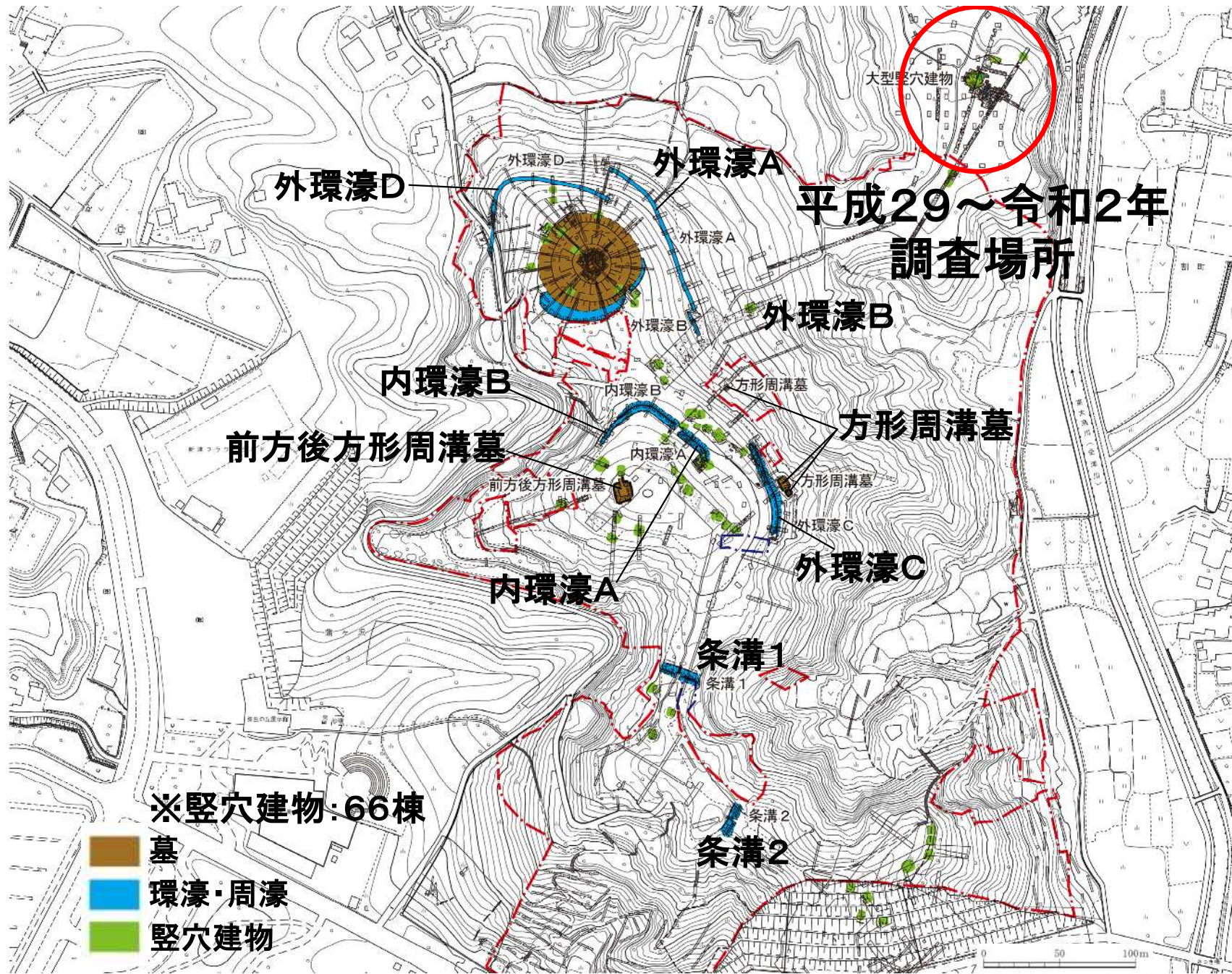
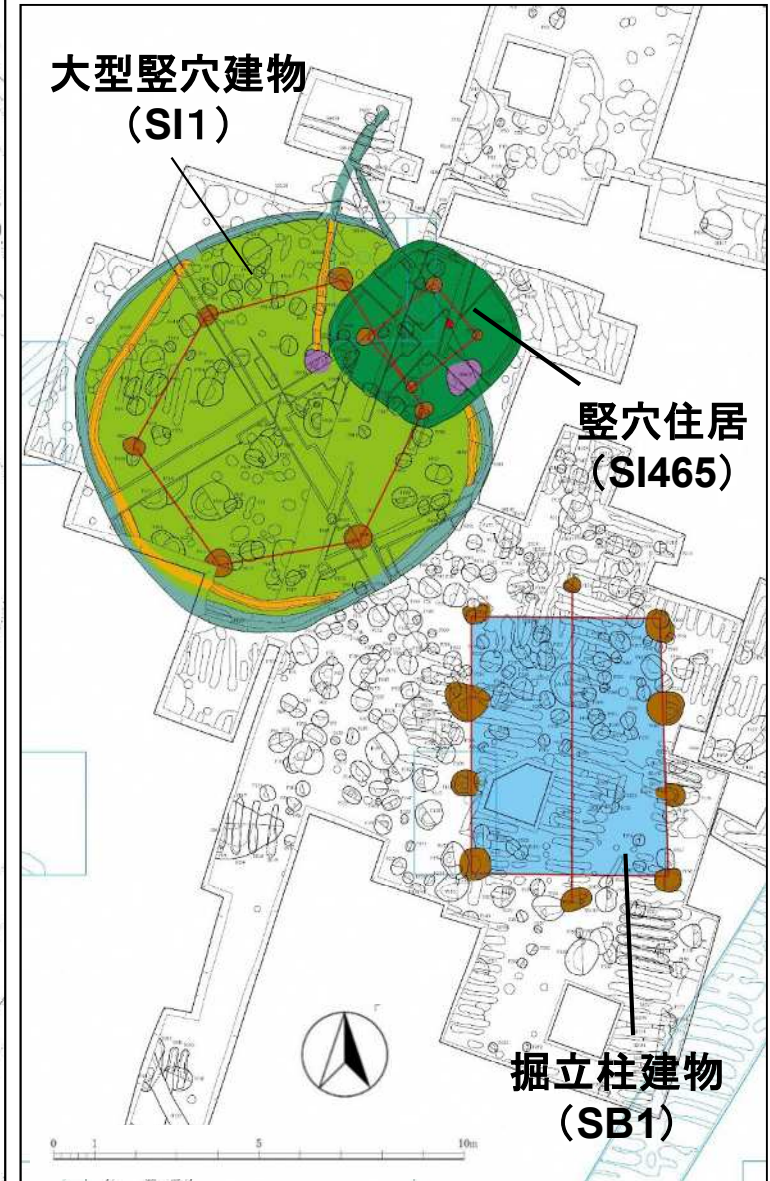
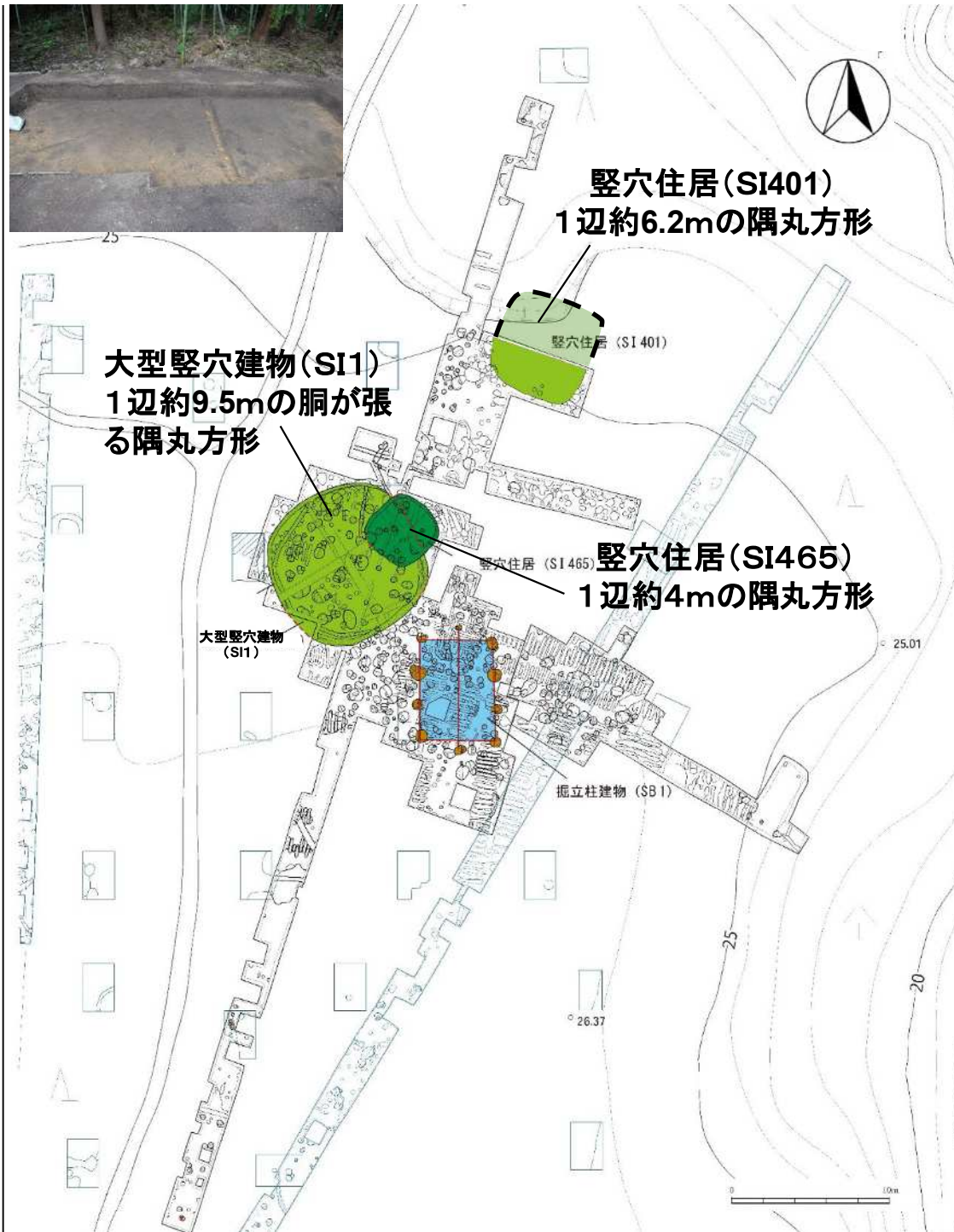


3. 最近の調査成果を交えて見た古津八幡山遺跡 (弥生時代)



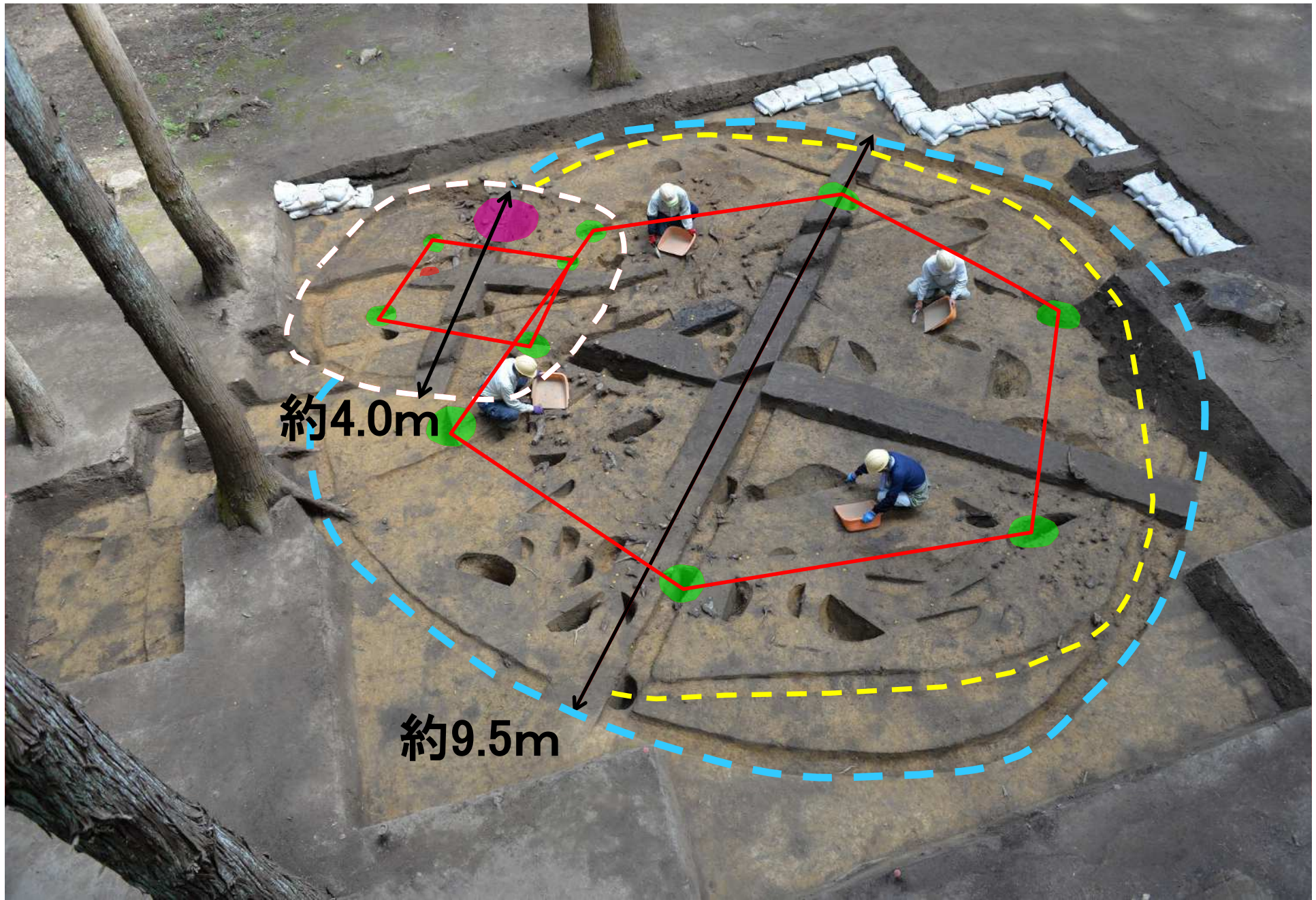
古津八幡山遺跡遺構平面図



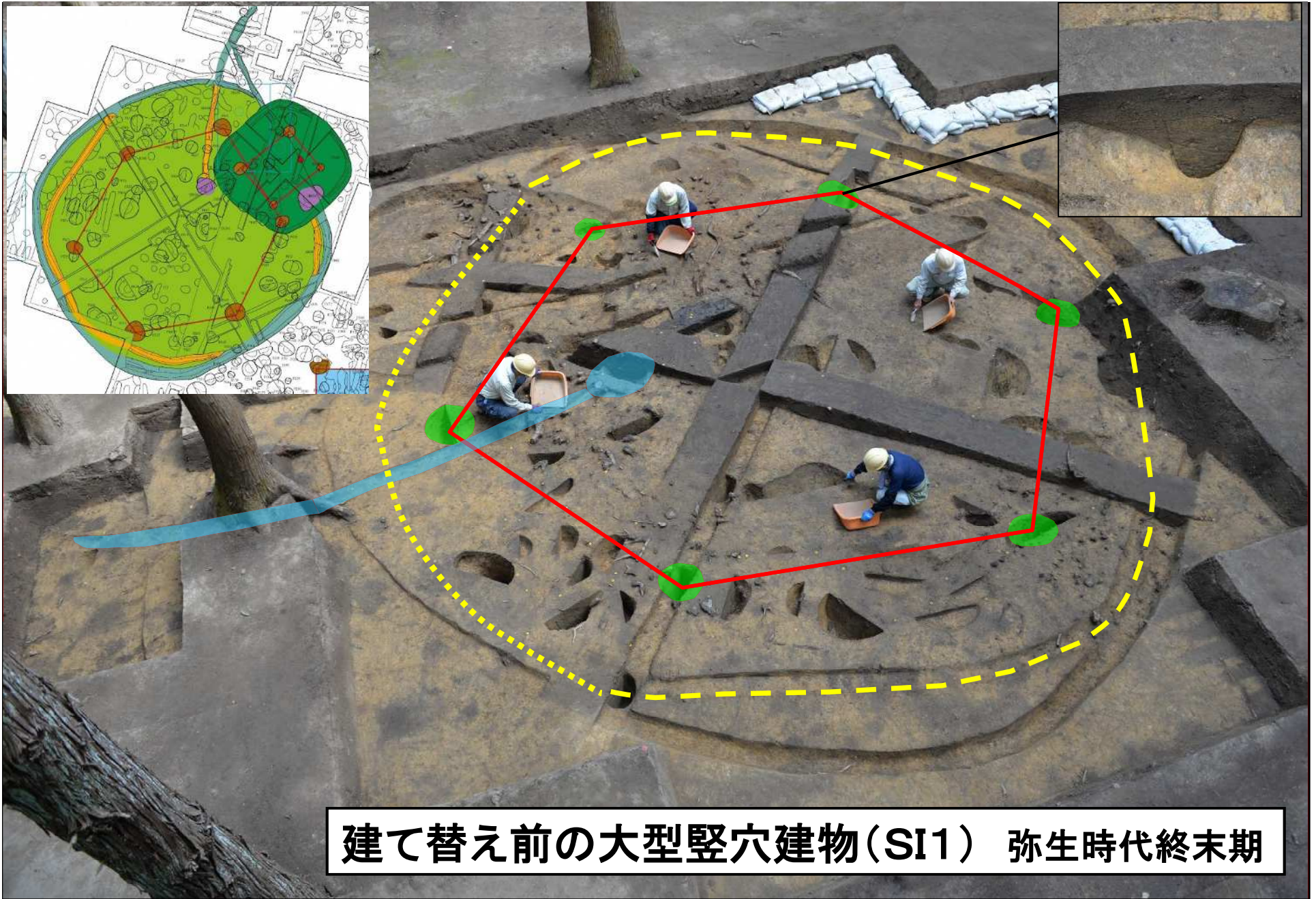
平成29～令和2年
発掘調査平面図⁴⁵



大型竪穴建物(SI1)・竪穴住居(SI465)全景(北西から)

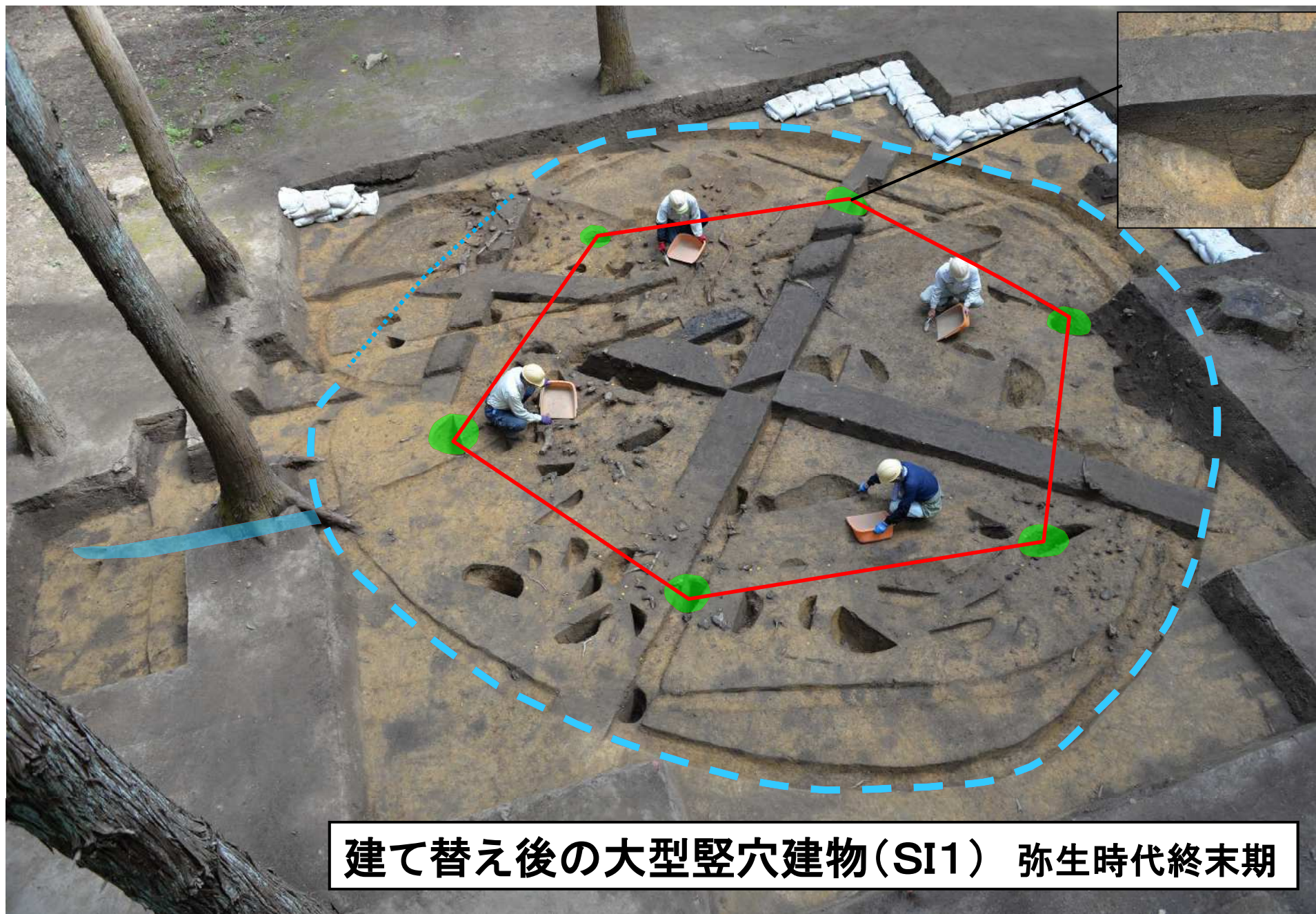


大型竪穴建物(SI1)・竪穴住居(SI465)全景(北西から)



建て替え前の大型竪穴建物(SI1) 弥生時代終末期

大型竪穴建物(SI1)・竪穴住居(SI465)全景(北西から)



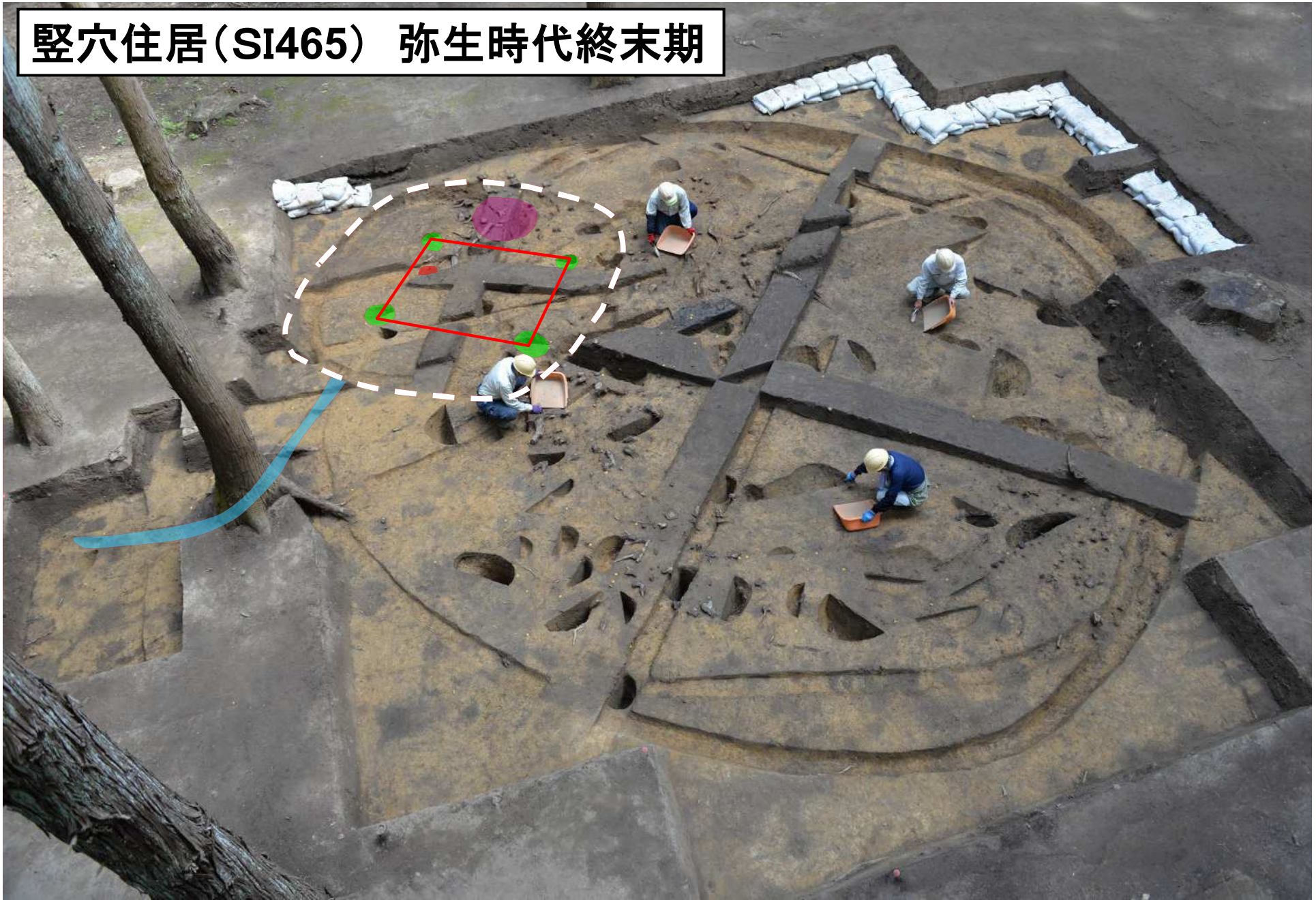
建て替え後の大型竪穴建物(SI1) 弥生時代終末期

大型竪穴建物(SI1)・竪穴住居(SI465)全景(北西から)

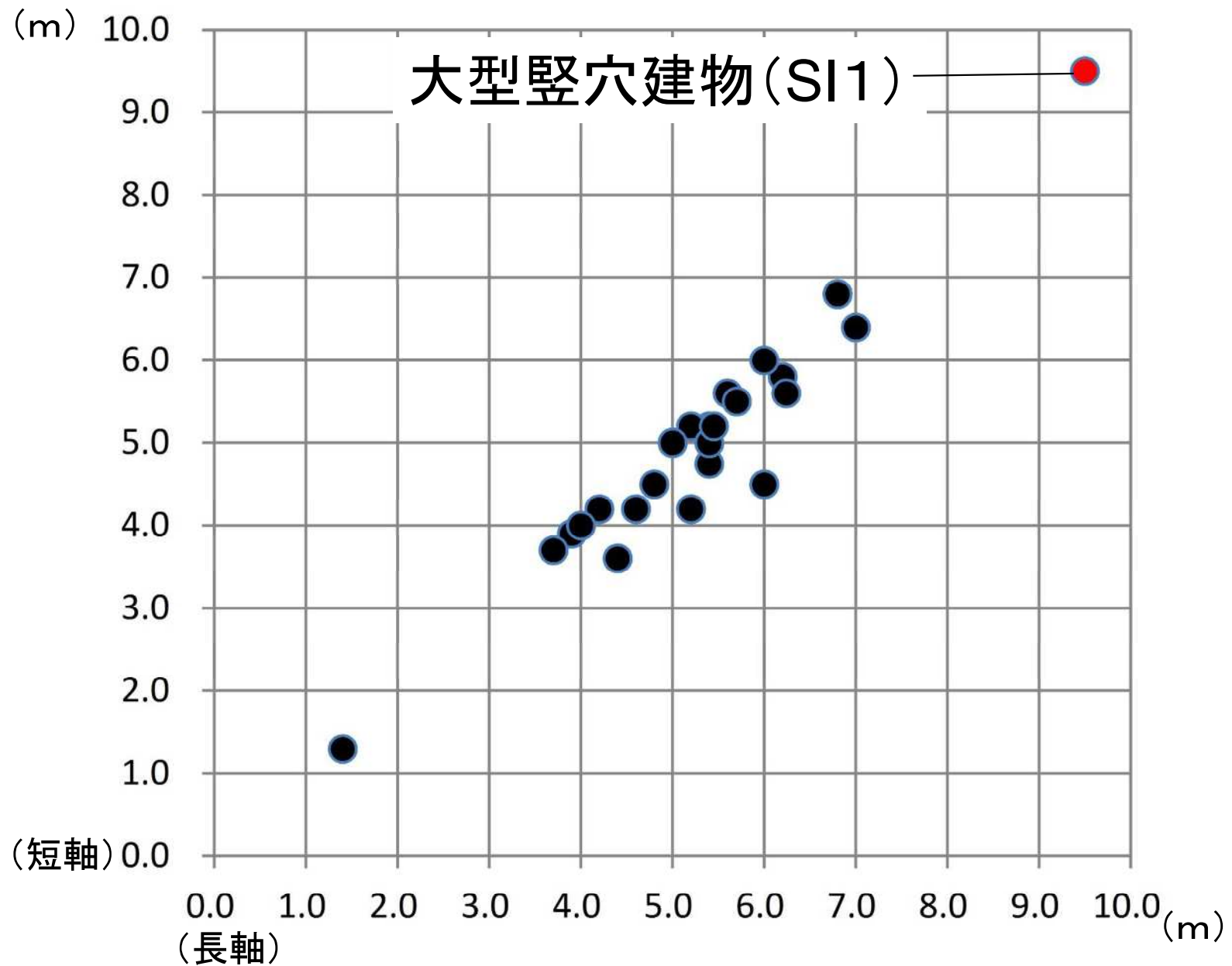


大型竪穴建物(SI1)出土遺物

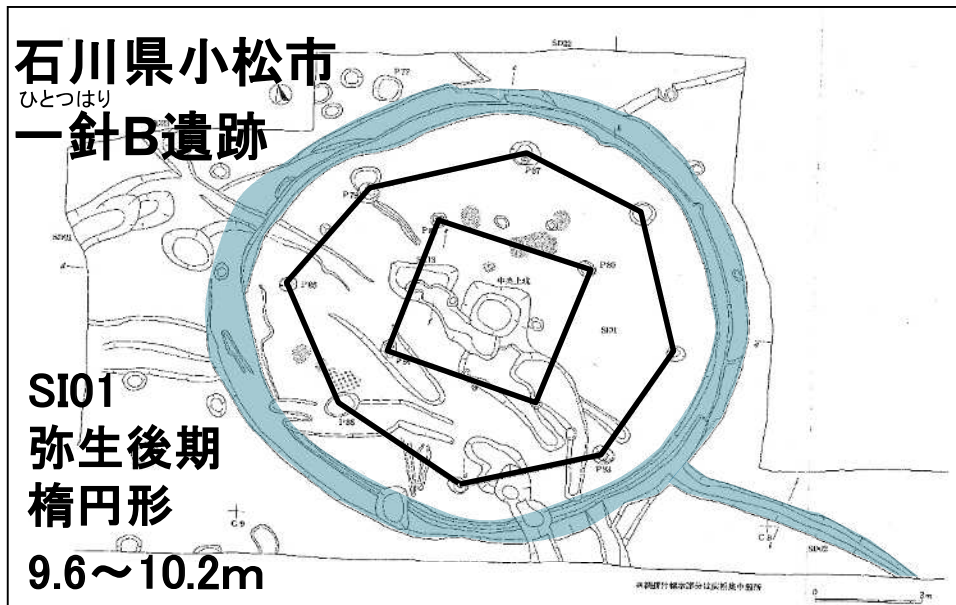
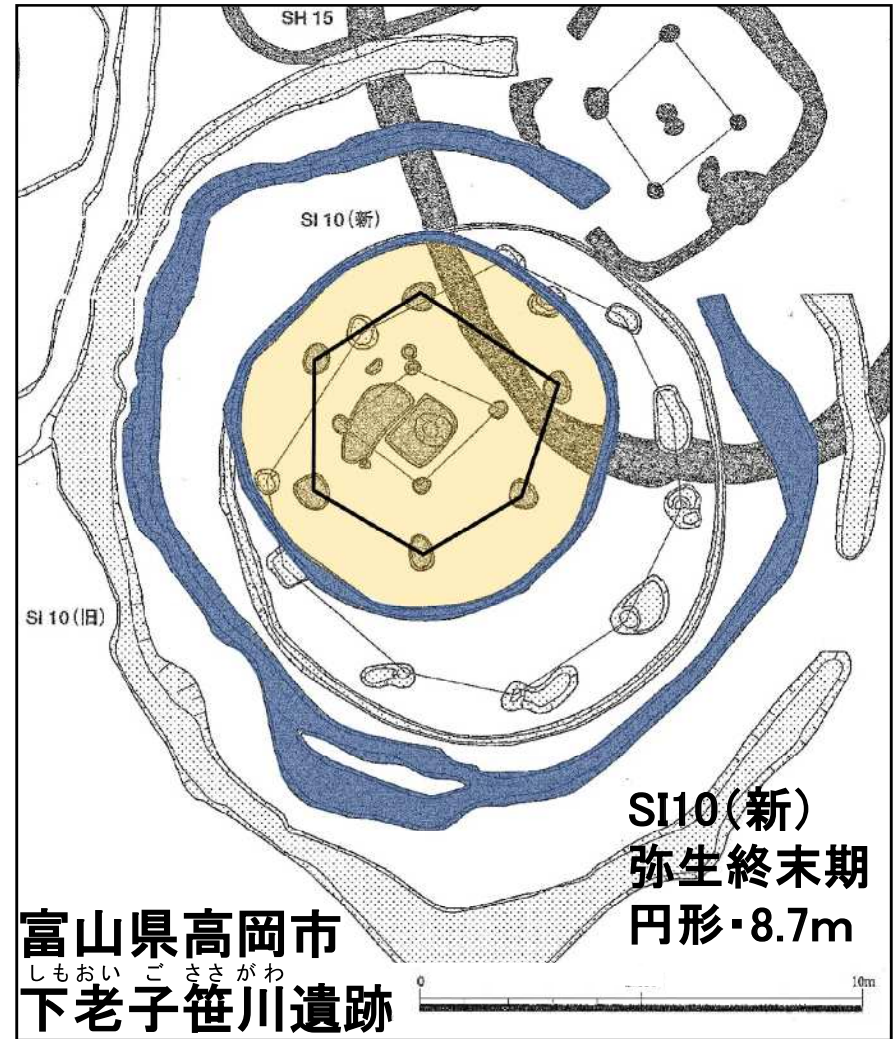
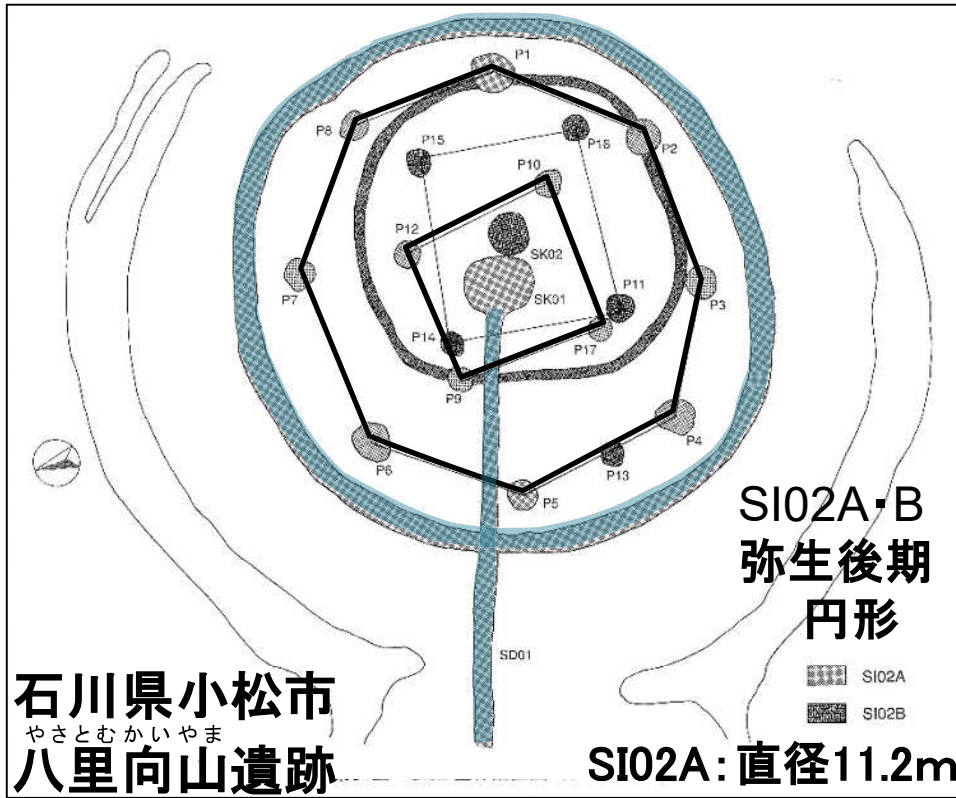
竪穴住居(SI465) 弥生時代終末期



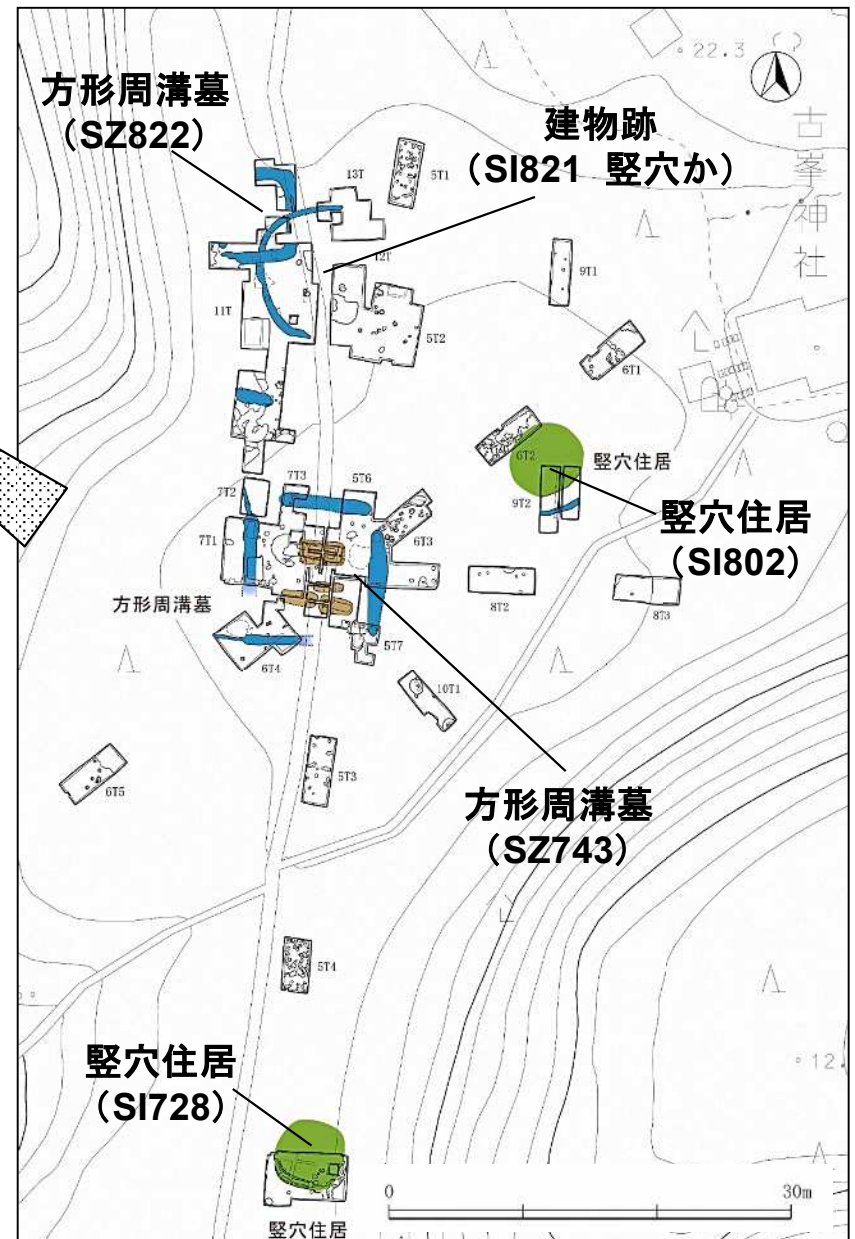
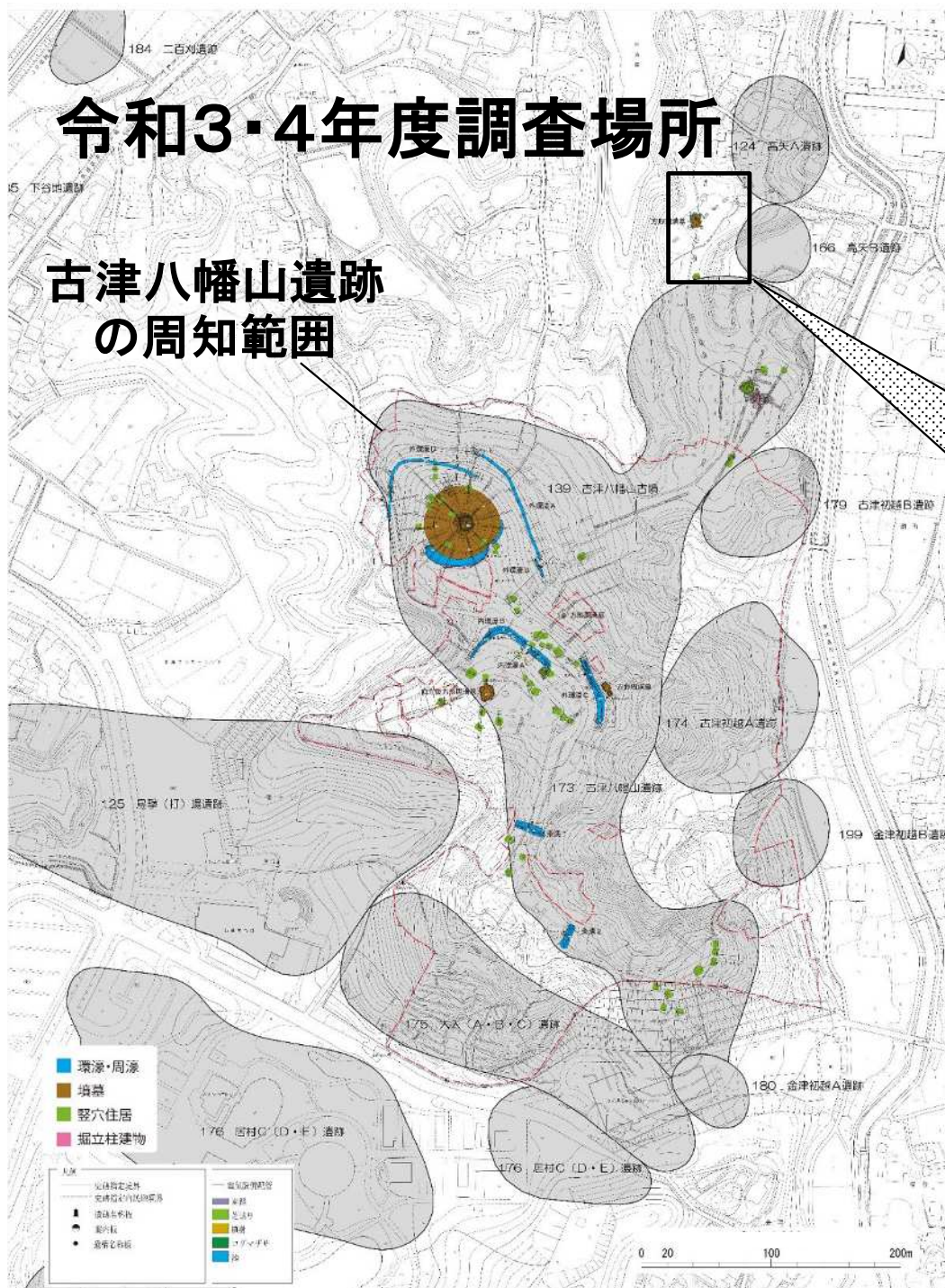
大型竪穴建物(SI1)・竪穴住居(SI465)全景(北西から)



古津八幡山遺跡における弥生時代の竪穴建物の大きさ



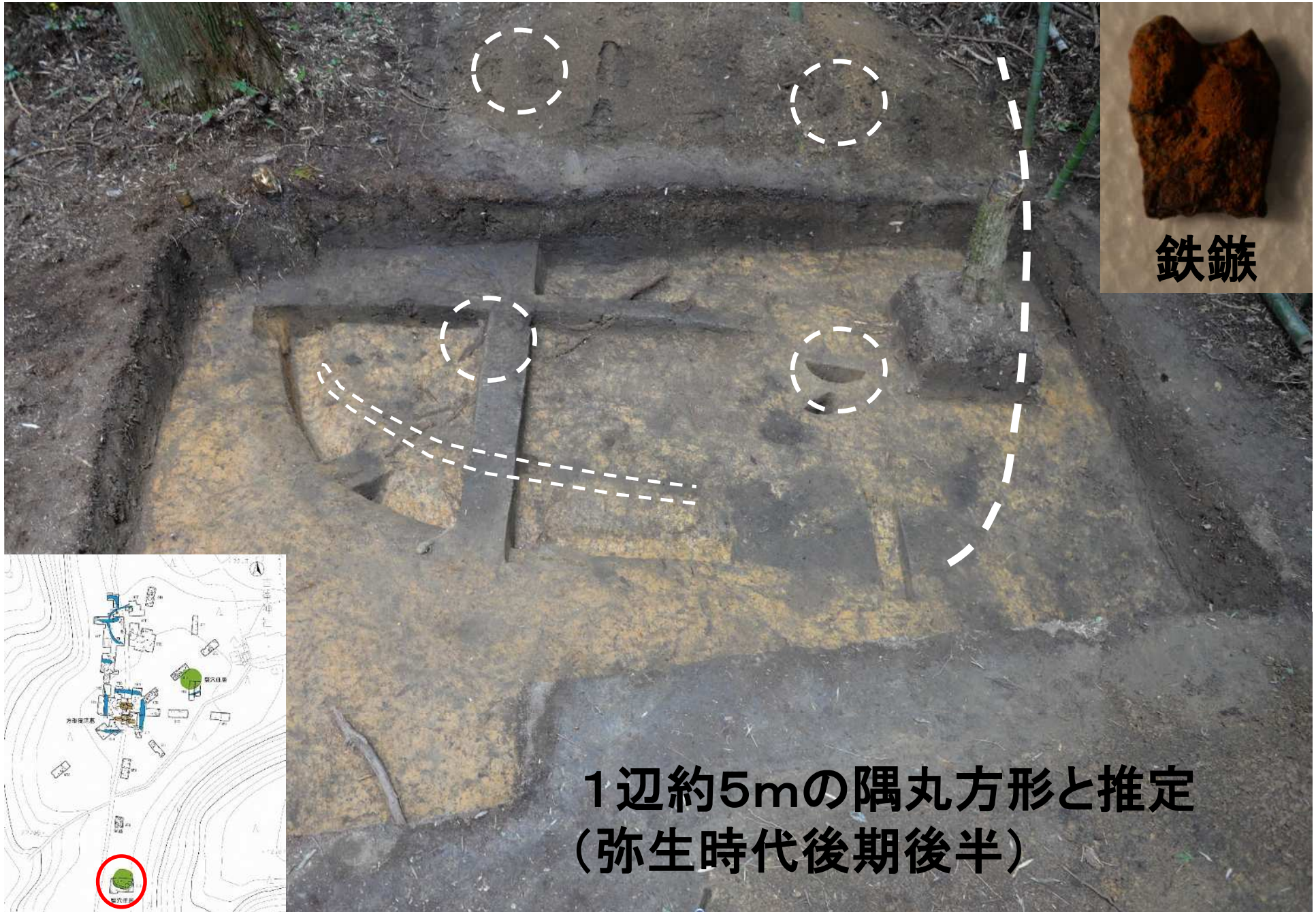
北陸におけるおもな 大型建物



令和3・4年度調査 場所遺構平面図



令和3・4年度調査
場所遺構平面図



鉄鏟

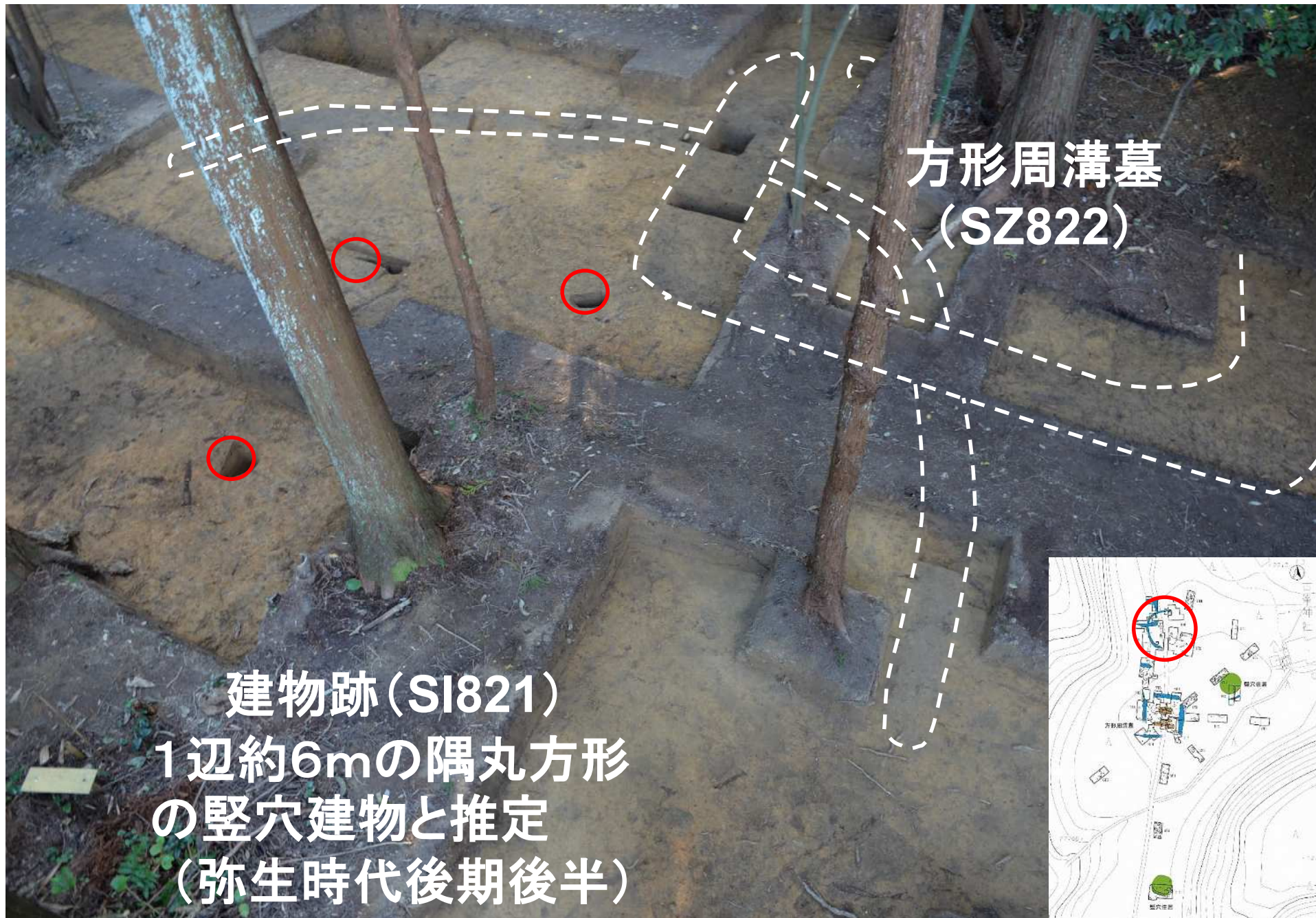
1辺約5mの隅丸方形と推定
(弥生時代後期後半)

竪穴住居(SI728 南から)



直径約5.5mの円形と推定
(弥生時代後期後半)

竪穴住居(SI802 西から)



方形周溝墓
(SZ822)

建物跡 (SI821)
1辺約6mの隅丸方形
の竪穴建物と推定
(弥生時代後期後半)

建物跡と方形周溝墓 (SI821・SZ822 北東から)

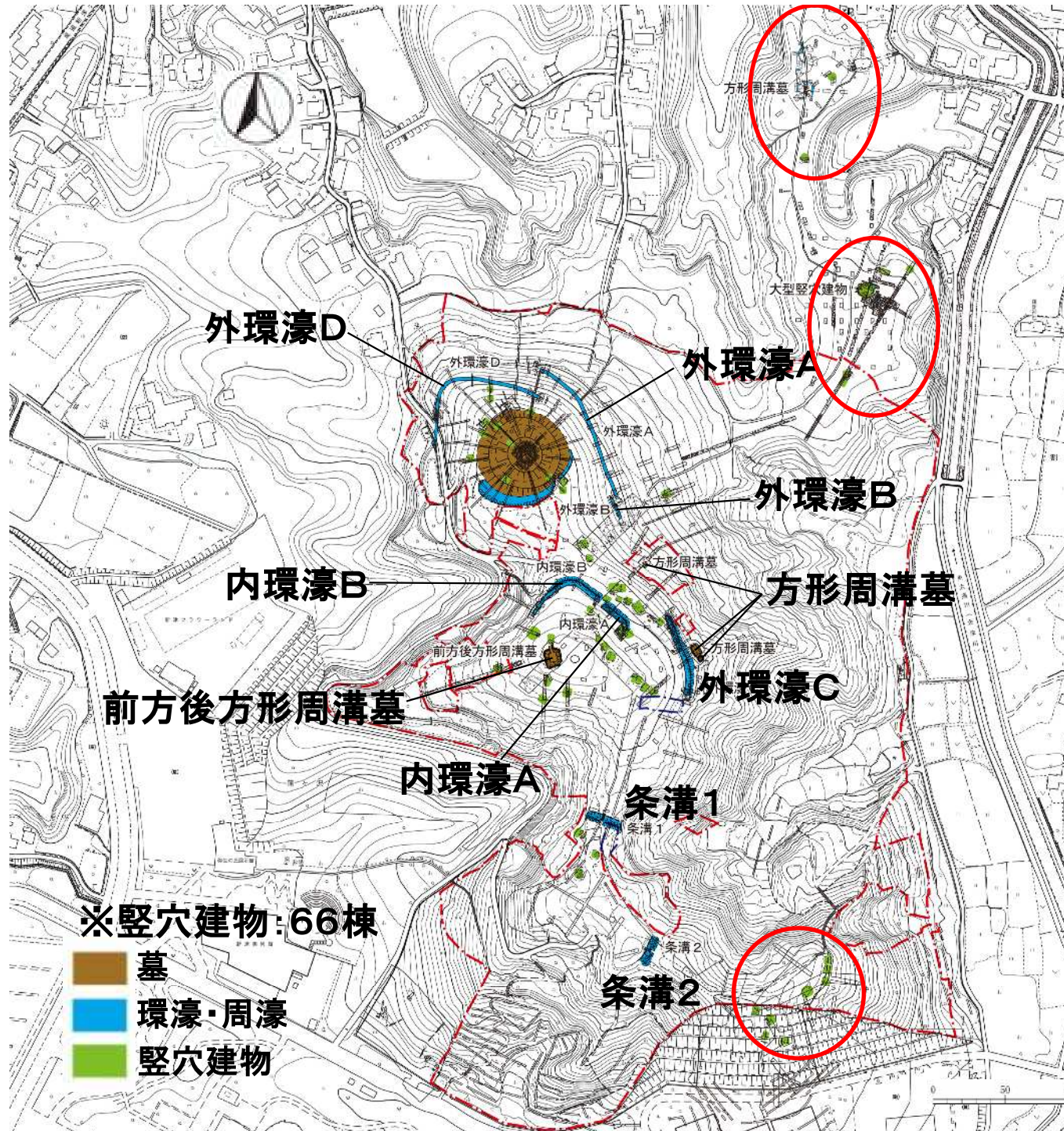
古津八幡山遺跡 遺構平面図

弥生時代後期末葉
に環濠が埋没

➡環濠の埋没後、
環濠外側へ建物の
分布が広がって
いったと思っていた。

しかし、令和3・4年
の調査によって、環
濠が埋没する以前
から、遺跡北東部
の丘陵中腹域では
すでに建物が複数
棟建てられていた
ことが判明した。

さらに...



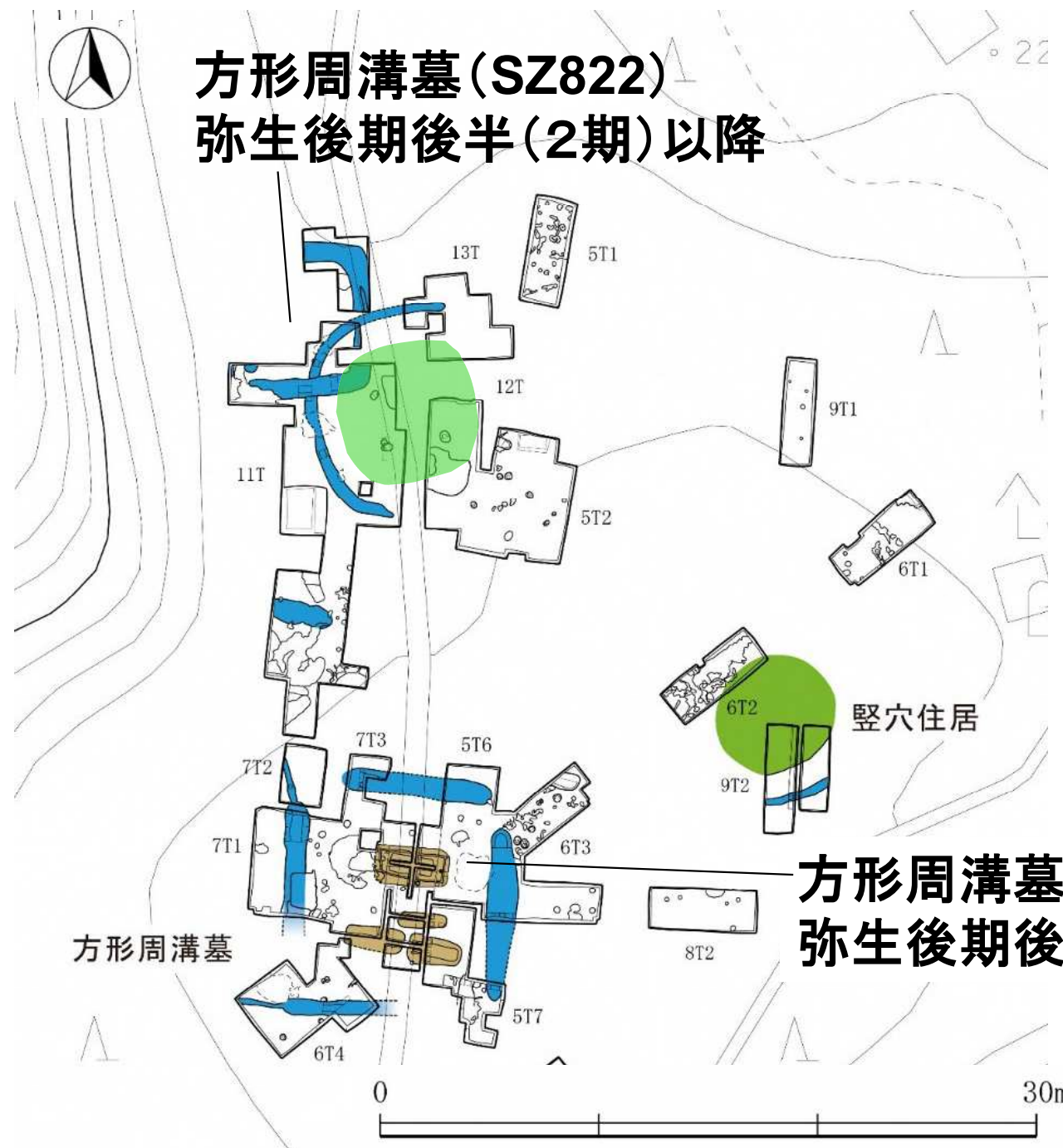
令和3・4年度調査 場所遺構平面図

方形周溝墓(SZ822) 弥生後期後半(2期)以降

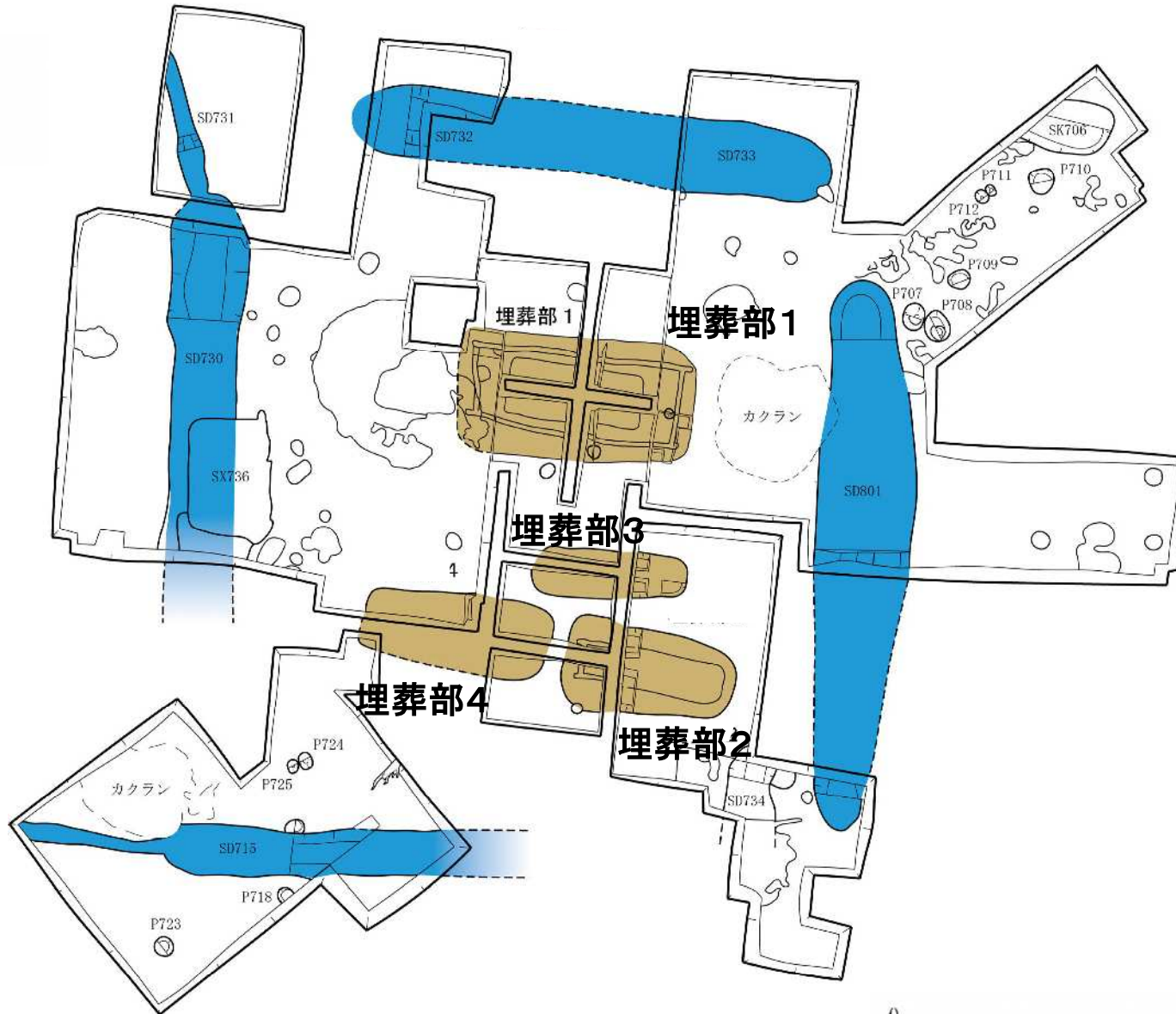
方形周溝墓

方形周溝墓(SZ743) 弥生後期後半～末葉(2～3期)

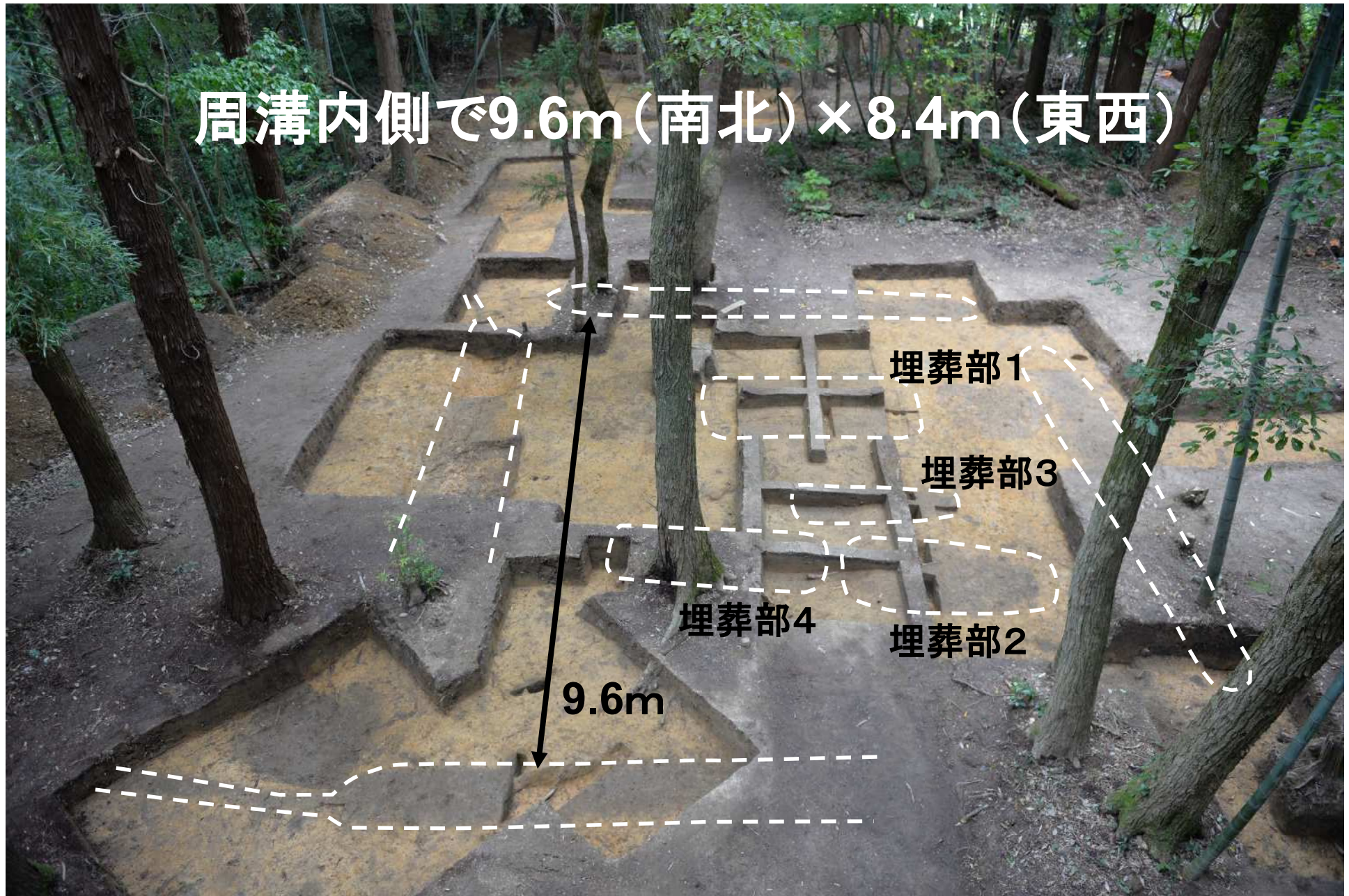
竪穴住居



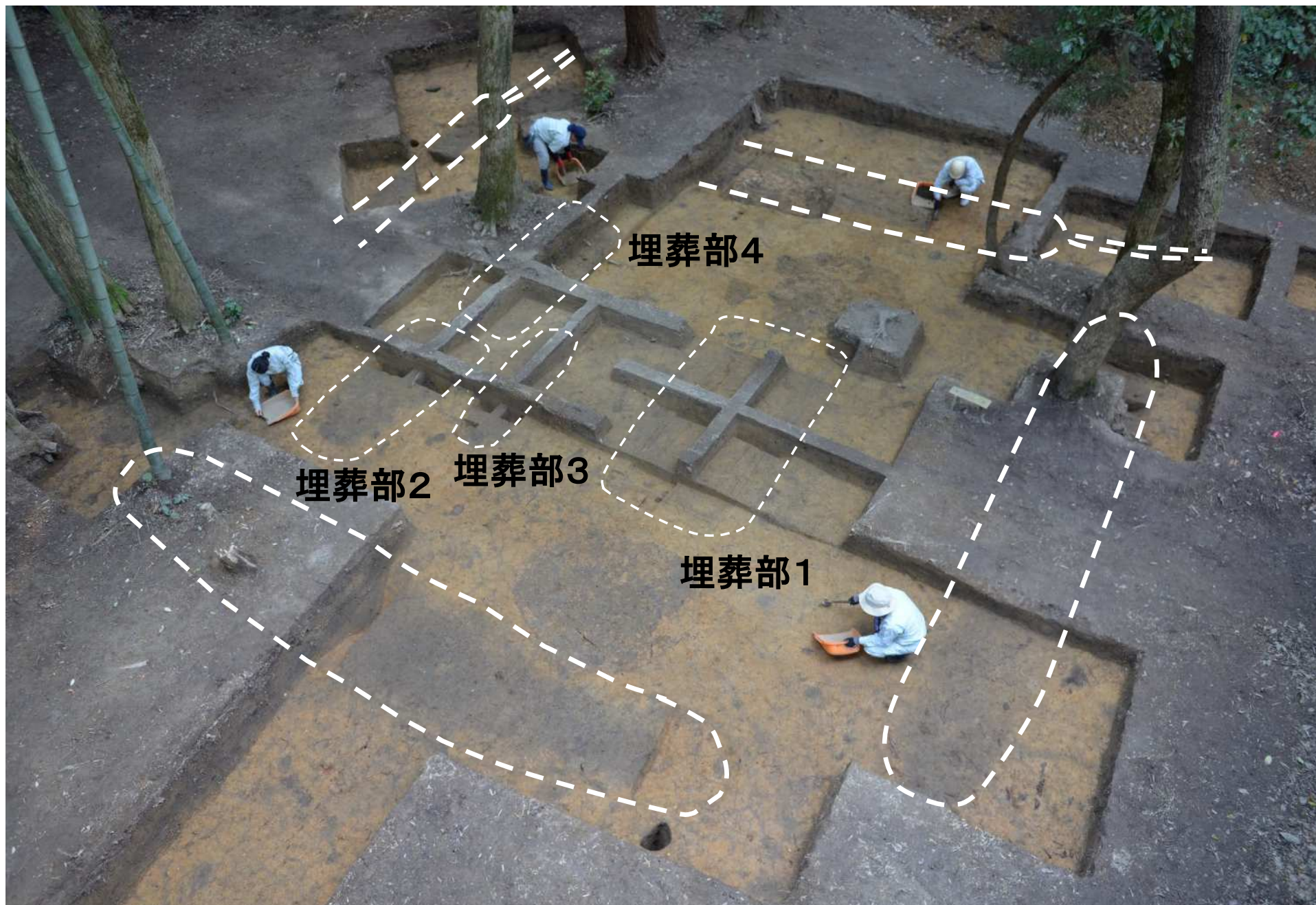
周溝内側で9.6m(南北)×8.4m(東西)



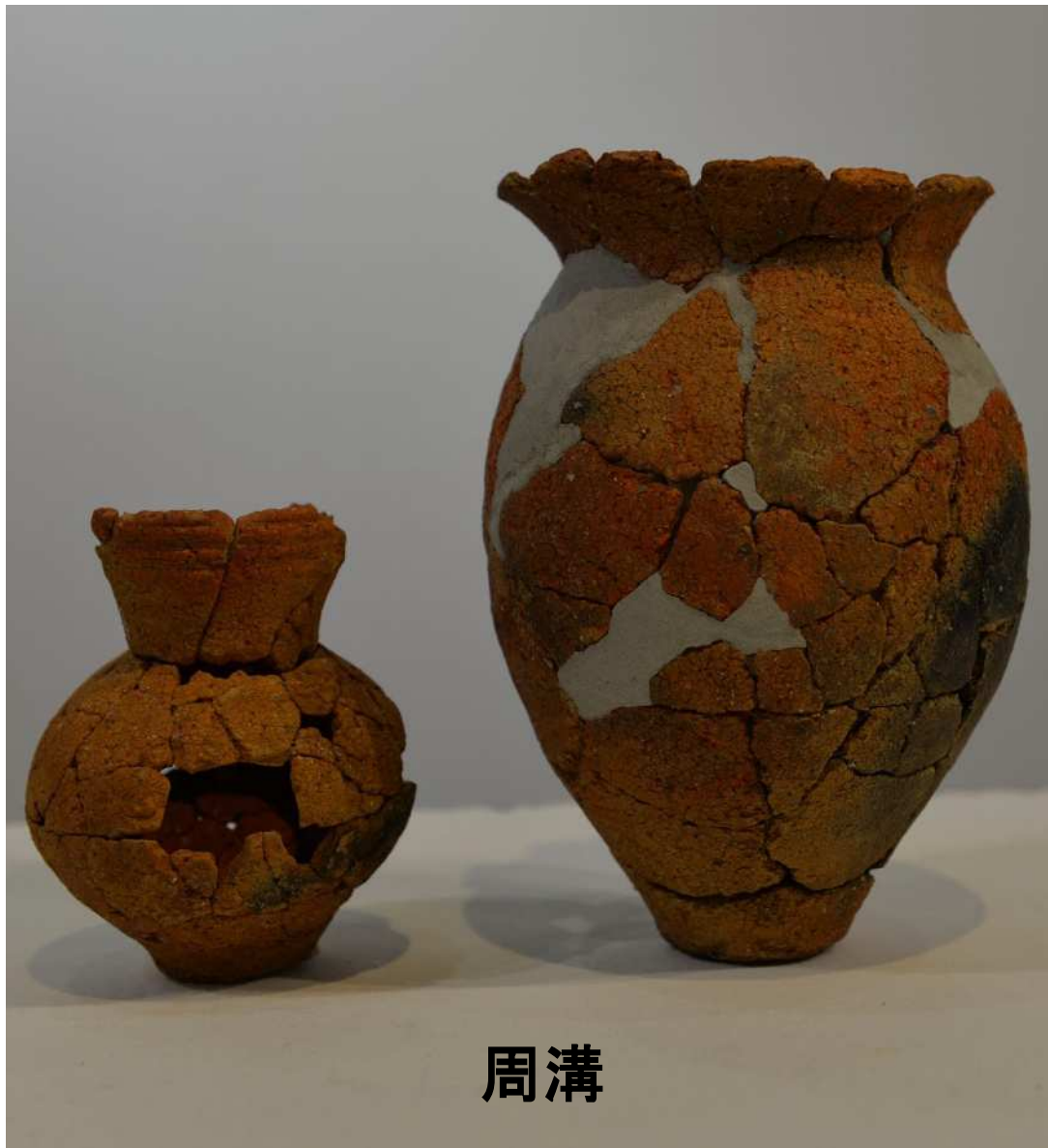
方形周溝墓(SZ743)



方形周溝墓(SZ743 南から)



方形周溝墓 (SZ743 北東から)



周溝



埋葬部 1



埋葬部 1

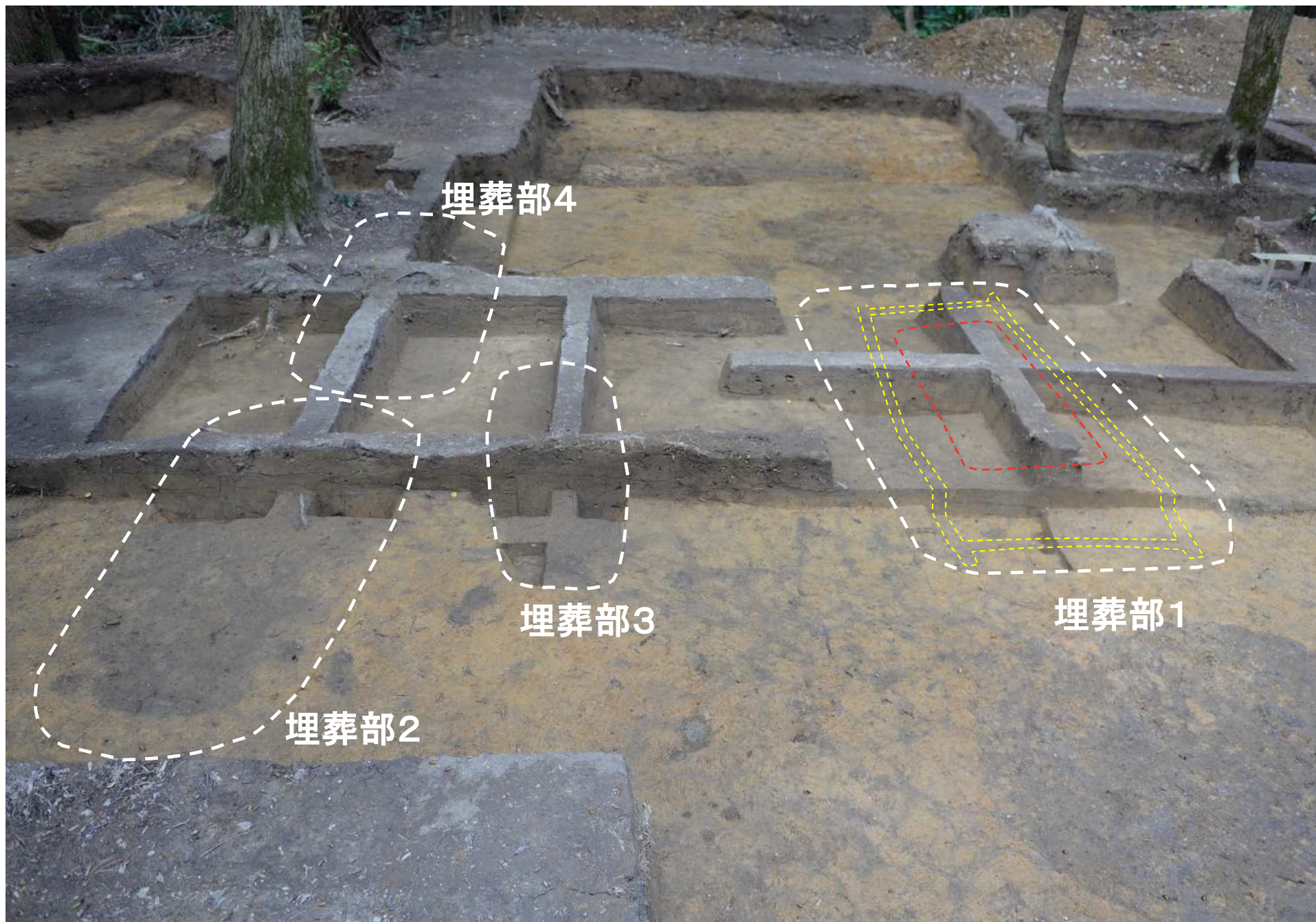
周溝



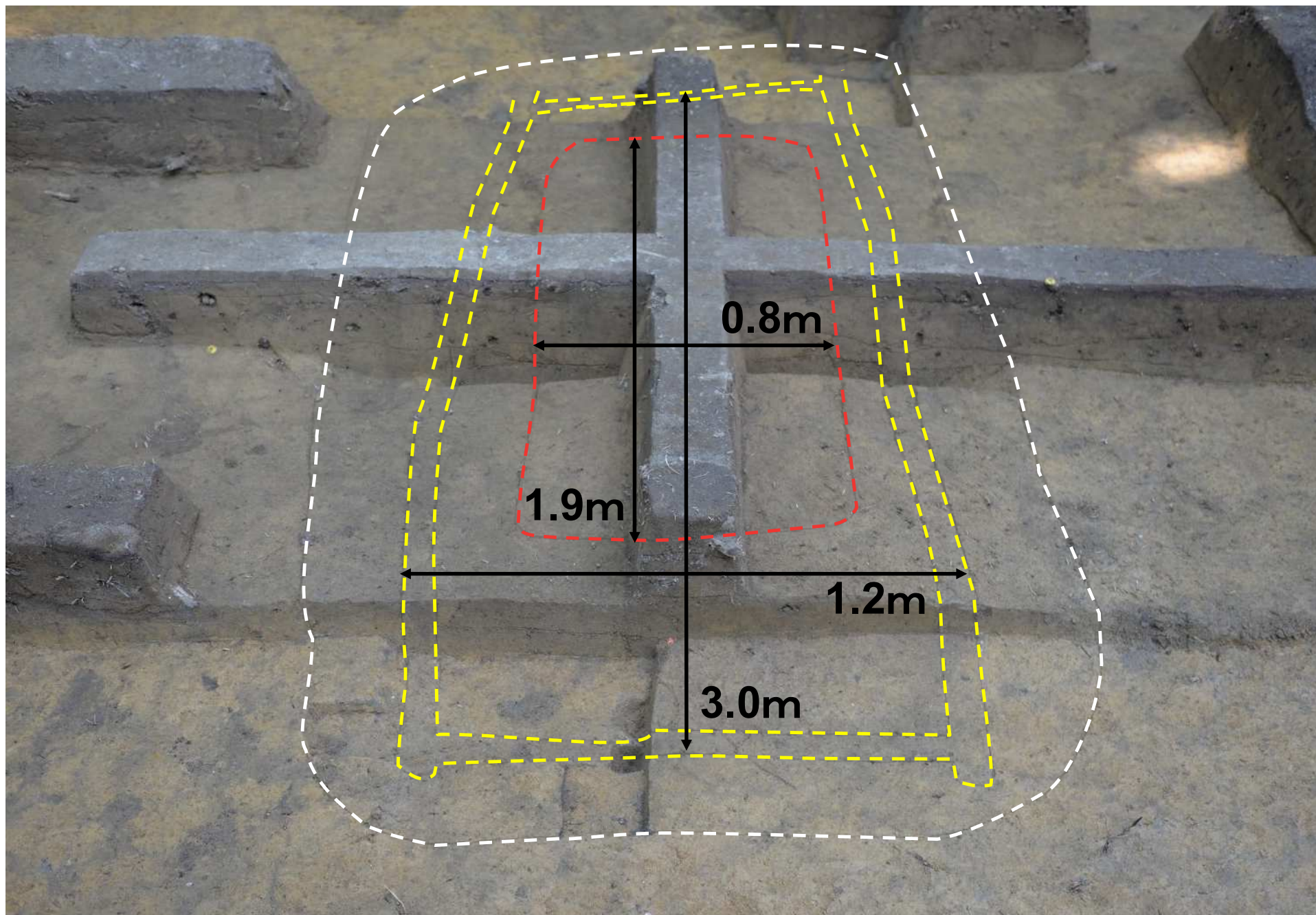
埋葬部 1

弥生時代後期後半～末葉

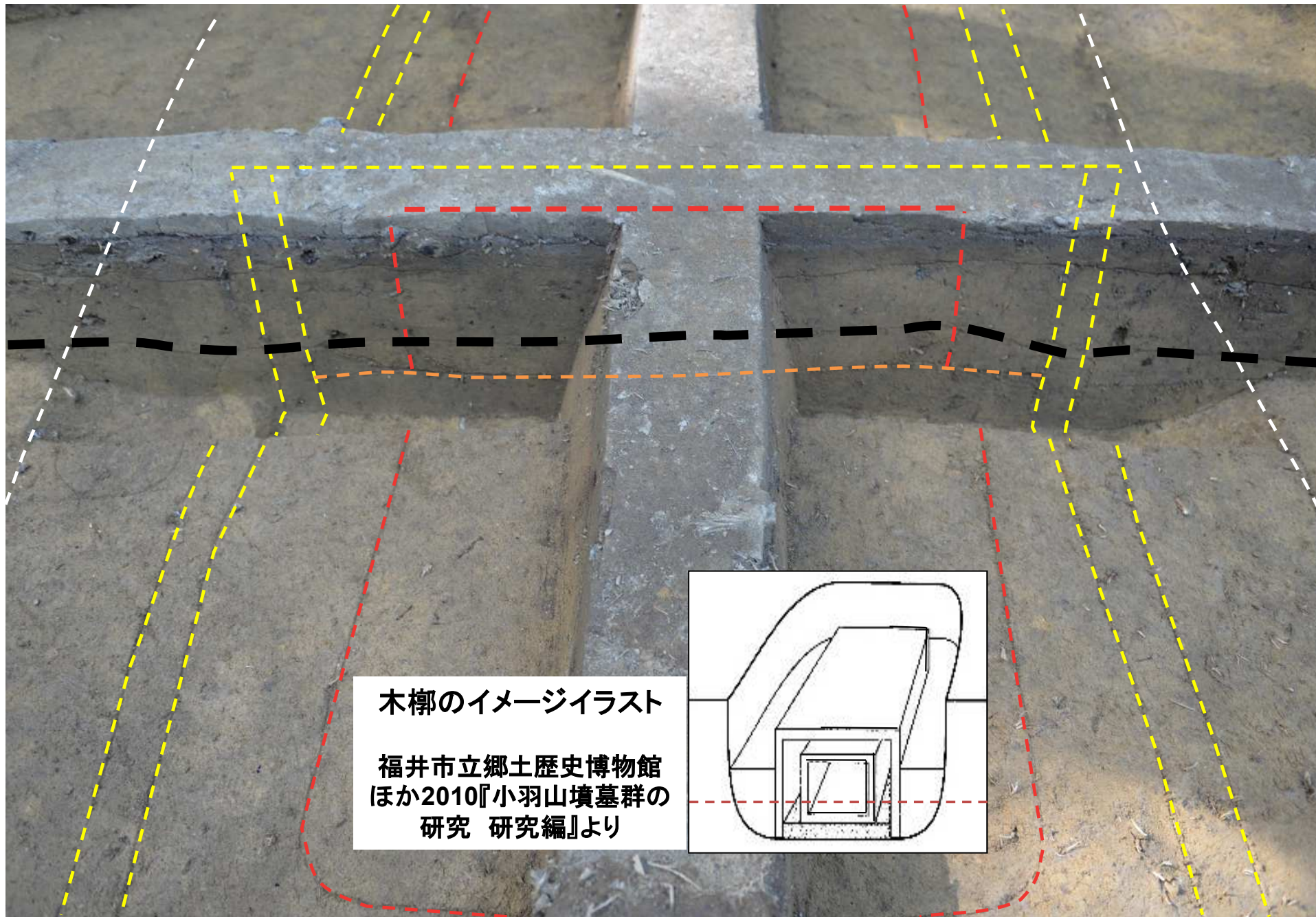
方形周溝墓 (SZ743) 出土遺物



方形周溝墓 (SZ743) の埋葬部1～4 (東から)

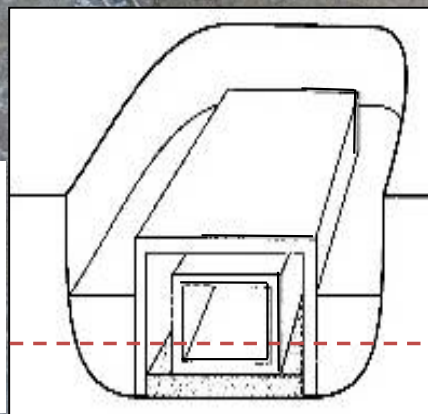


方形周溝墓 (SZ743) 埋葬部1 (東から)

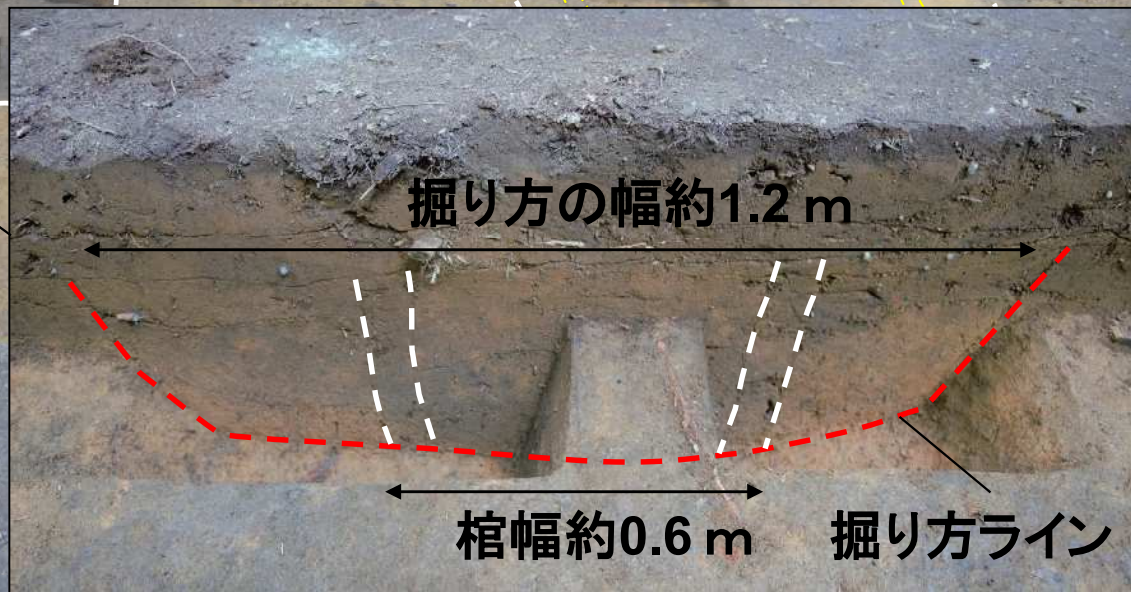
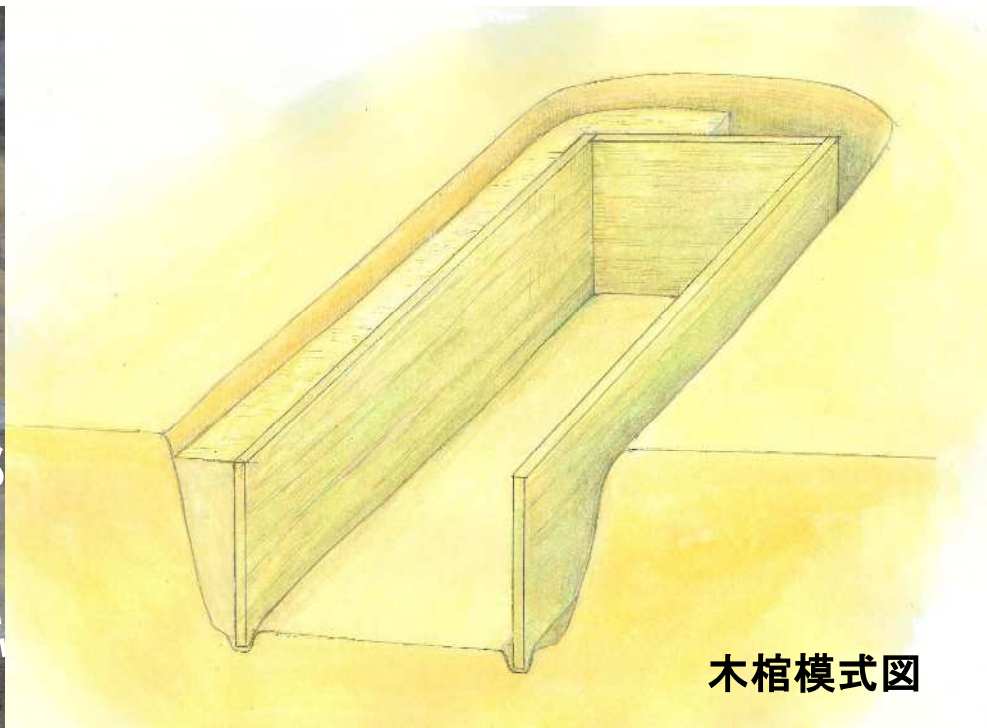
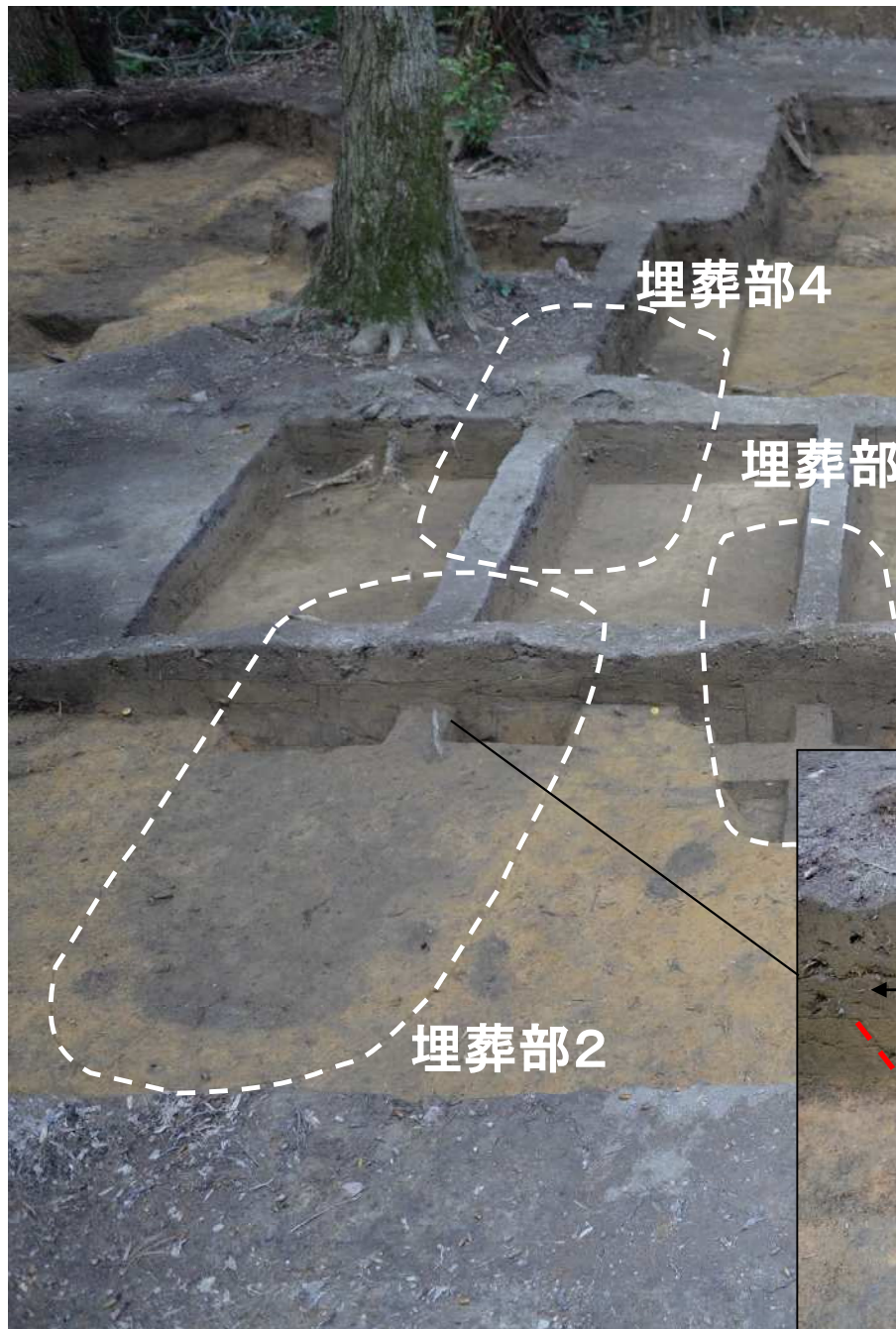


木槨のイメージイラスト

福井市立郷土歴史博物館
ほか2010『小羽山墳墓群の
研究 研究編』より



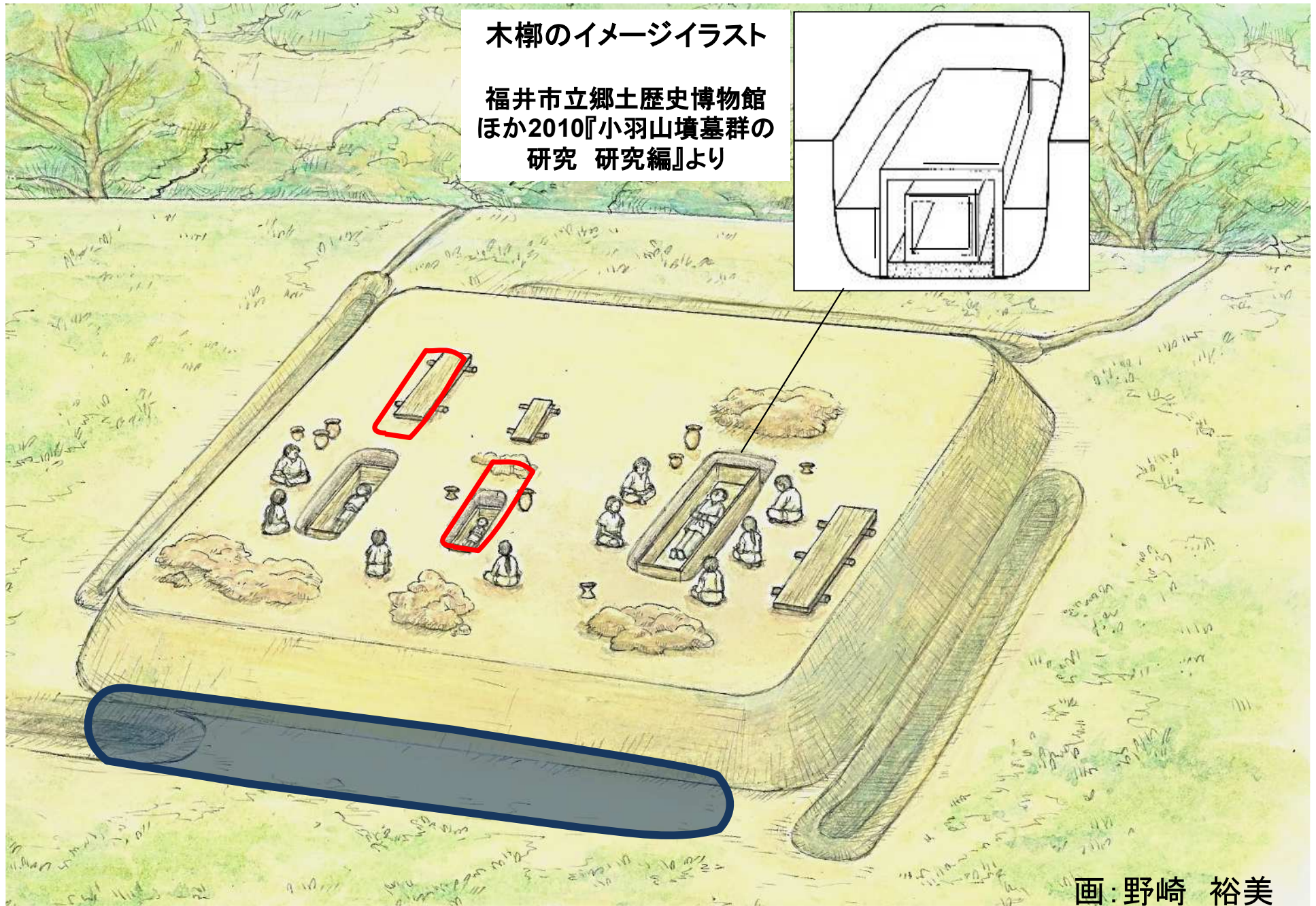
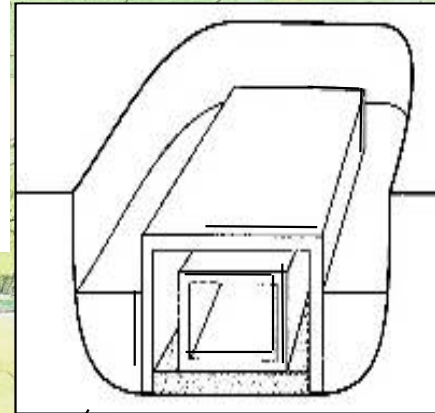
方形周溝墓 (SZ743) 埋葬部1 (東から)



方形周溝墓 (SZ743) の埋葬部1～4 (東から)

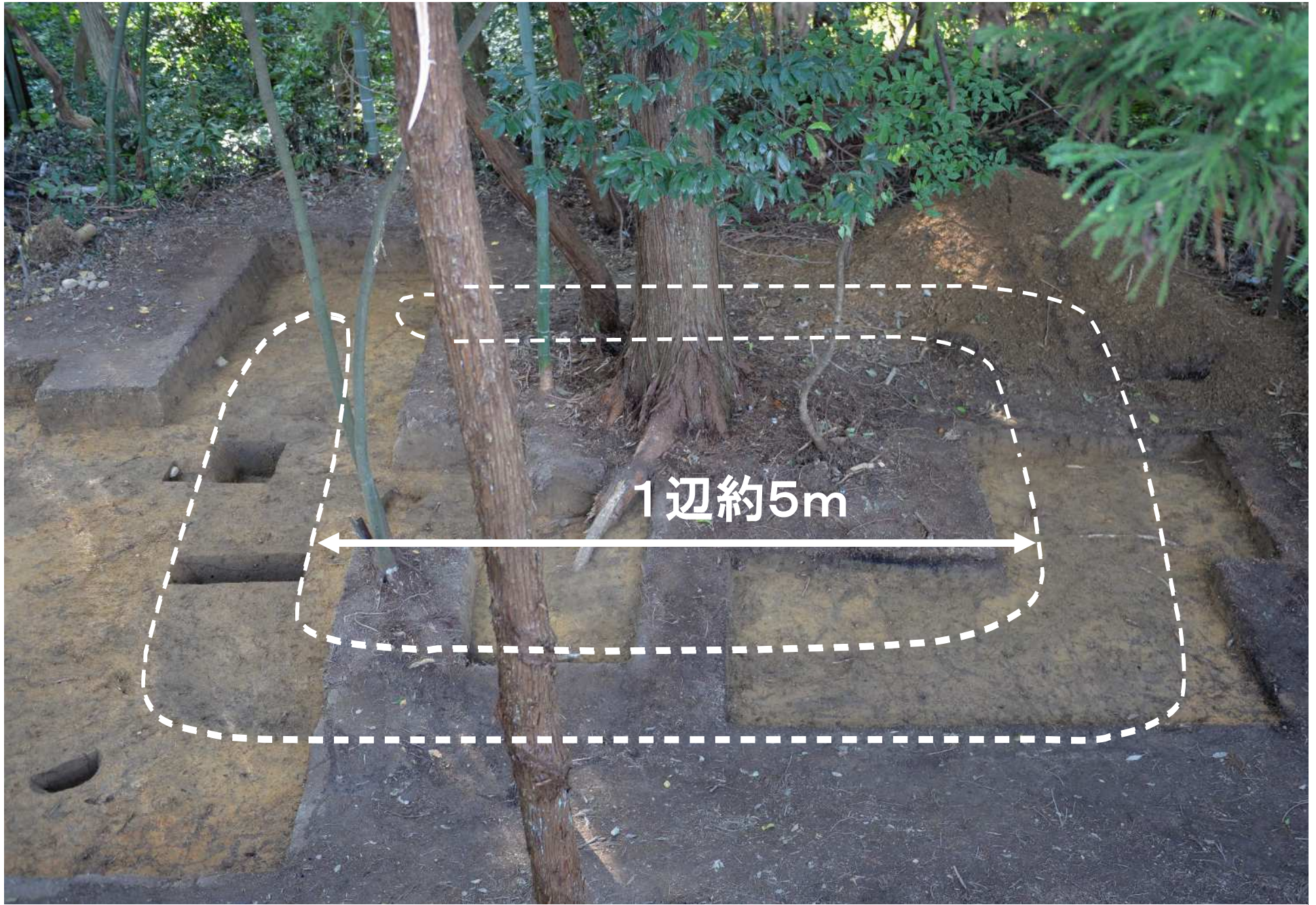
木槨のイメージイラスト

福井市立郷土歴史博物館
ほか2010『小羽山墳墓群の
研究 研究編』より



画:野崎 裕美

令和3年度の方形周溝墓(SZ743)の復元イメージイラスト

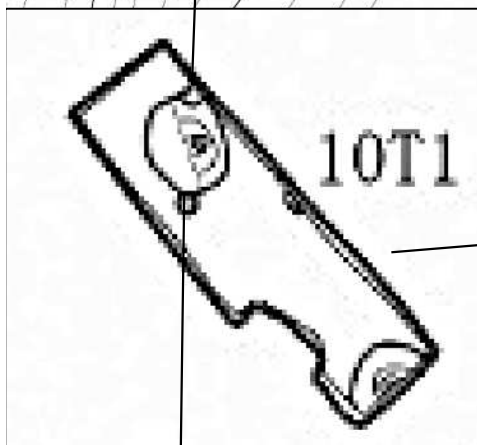


方形周溝墓(SZ822 東から)

方形周溝墓(SZ822)
弥生後期後半(2期)以降



柱穴の断面



柱穴の断面



建物跡(SI821 竪穴住居か)
弥生後期後半(2期)

竪穴住居(SI802)
弥生後期後半(2期)

方形周溝墓(SZ743)
弥生後期後半~末葉(2~3期)

竪穴住居(SI728)
弥生後期後半(2期)

令和3・4年度調査
場所遺構平面図

※白抜きは横穴系の埋葬施設・右数値は規模(m)

時期区分	地域			阿賀北	信濃川左岸			
	時期				信濃川 河口付近	弥彦・ 角田山麓	島崎川・ 西山丘陵周辺	新津丘陵 (古津八幡山)
	新潟シンボ編年	古墳集成編年	須恵器					
1 200	弥生後期	1					SX1005 ■ 3	
		2			SX1004 ■ 6			
		3			SZ743 ■ 10			
	(古墳早期) 弥生終末期	4					(SZ822 ■ 5)	
		5					SX03S14 ■ 13	
		6			正尺C ■ 5			
300	古墳時代前期 前半	7	1期	二本松 東山1 ● 16				
		8	2期					
	後半	9	3期	城の山 ● 42	緒立八幡 ● 30			
		10	4期					
400		5期	TG232				古津八幡山 ● 60	

新潟県における弥生時代後期～古墳時代の主な墳墓



今回見つけた方形周溝墓(SZ743)は約3倍

頂上の方形周溝墓(SX1005)



頂上の方形周溝墓 (SX1005)

国内の木槨墓一覽

(岡林孝作2018『古墳時代棺槨構造と系譜』同成社をもとに作成・一部追加)

類型	長幅比	四側板を立てた後の槨底面の整備	槨の裏込め
A	3.0~4.0前後	なし	あり
B	1.5~2.5前後	平らに整える	あり
C	1	1.5~2.5前後	あり
	2		なし

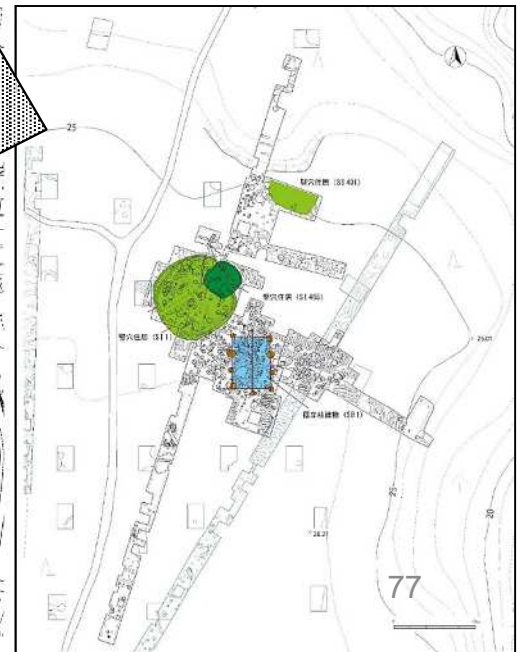
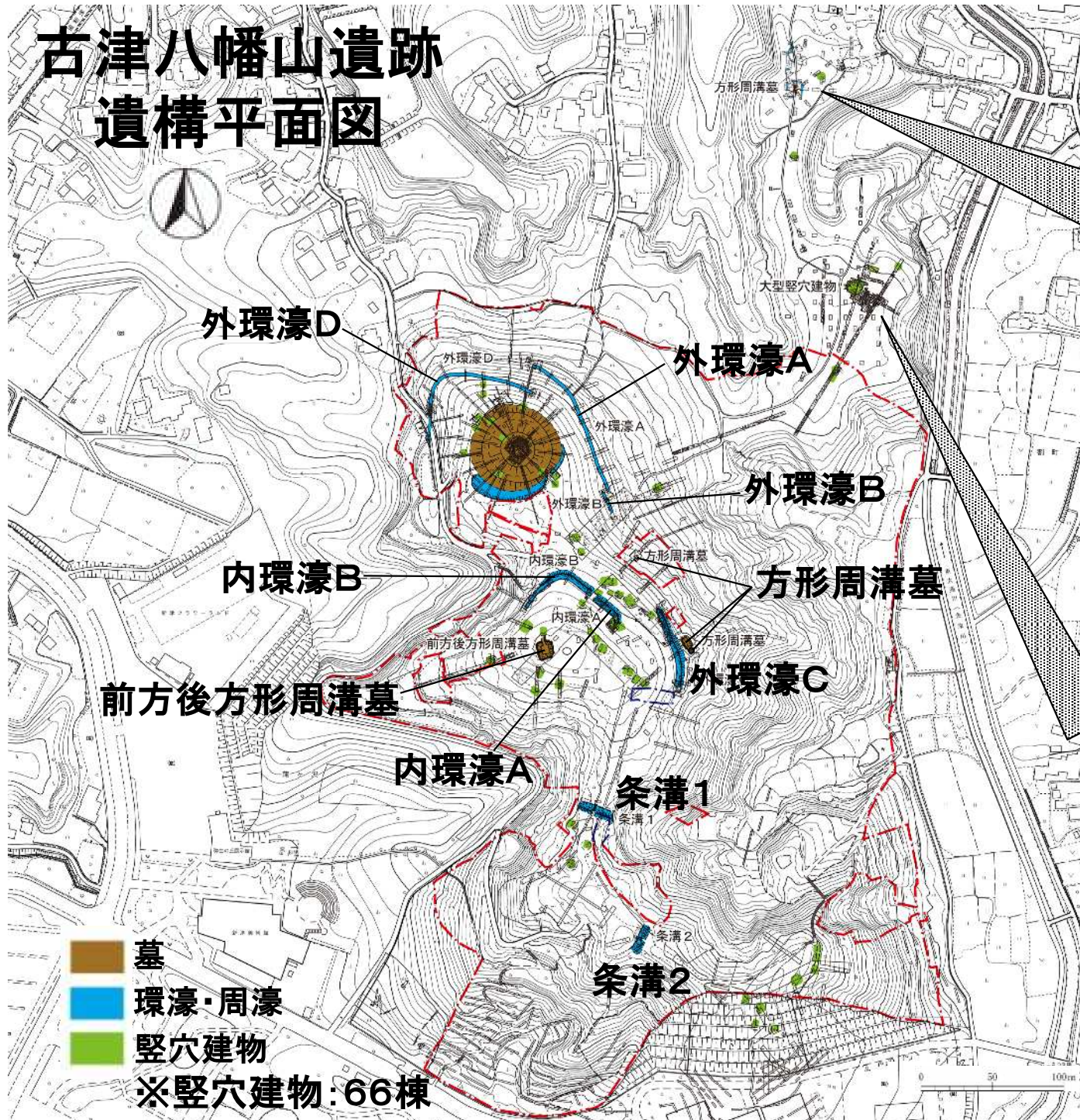
	遺跡・遺構	所在地	時期	類型	墓壇			木槨				木棺			
					長さ	幅	高さ	棺床	長さ	幅	高さ	長幅比	形式	棺長	幅
1	槇ヶ坪2号遺跡SK1	広島県北広島町	弥生中期後葉	A	2.5	0.8	0.45-0.5	棺壁・配石	2.15	0.55	0.15-0.2	3.9	(刳抜式)	2.1	0.4±
2	浄福寺1号遺跡SK5	広島県東広島町	弥生中期後葉?	A	2	0.7-0.75	0.15+	棺壁	2	0.55		3.6	(刳抜式)	2	
3	鎌田原6号木槨墓	福岡県嘉麻市	弥生中期前半~中葉	A	6.45	4.25		棺壁・粘土敷	3.59	0.88		4.1	箱形	2.2+	0.46
4	比恵遺跡SX03	福岡県福岡市	弥生中期前葉	A	4.1	1.8		棺壁	3.4+	1.1		3.1	(刳抜式)	2.7	0.5-0.6
5	吉野ヶ里遺跡SP0912	佐賀県吉野ヶ里町	弥生中期中葉	A	2.8	1.3		棺壁	2	0.7		2.9	(刳抜式)	1.9	0.5
6	柚比本村遺跡SP1100	佐賀県鳥栖市	弥生中期初頭	A	7.35+	3.7+		棺壁	2.65	0.7-0.8		3.5	(刳抜式)	2	0.6
7	増田遺跡SP6407	佐賀県佐賀市	弥生前期末~中期前半	A	2.45	0.95	0.55	棺壁	2.1	0.75		2.8	(刳抜式)	1.9	0.45
8	北中条遺跡木槨墓	石川県津幡町	弥生後期末	(B)	3.86	2.92	0.45	×	3.2	1.58		2	(組合式)		
9	古津八幡山遺跡方形周溝墓 (SZ743) 埋葬部1	新潟県新潟市	弥生後期後葉~末	B	(3.4)	1.75		×	3	1.2		2.5	組合式	(1.92)	(0.8)
10	雲山島打1号墓 (第3主体)	岡山県岡山市	弥生後期後葉	B	4	2.5	0.9	置き土	2.7	1.4		1.9	組合式	1.9	0.55
11	雲山島打1号墓 (第2主体)		弥生後期後葉	B	4.3	2.5	1.3	?	3	0.95		3.2	組合式	1.6	0.45
12	雲山島打1号墓 (第1主体)		弥生後期後葉	B	4.1	3.8	0.6+	?	2.5	1.3	0.6	1.9	組合式		
13	立坂弥生墳丘墓 (第2主体)	岡山県総社市	弥生後期後葉	B				板石敷	2+	1			組合式	1.7+	
14	立坂弥生墳丘墓 (第3主体)		弥生後期後葉	B				小礫敷	2.7	0.9		3	組合式		
15	橋築弥生墳丘墓 (中心主体)	岡山県倉敷市	弥生後期後葉	B	9	6.25-5.5	2.1	底板	3.6	1.3-1.6	0.88+	2.3	組合式	2.2	0.8-0.9
16	布勢鶴指奥1号墓 (第1主体部)	鳥取県鳥取市	弥生後期中葉	B	4.8	3.4	1.4	×	2.96	1.18	1	2.5	組合式	2	0.4-0.56
17	安養寺1号墓 (第1主体)	鳥根県安芸市	弥生後期末	(B)	5	3.3	1.2-1.3	×	3	1.3-1.6		2.1	組合式	2.25	0.4-0.7
18	西谷3号墓 (第1主体)	鳥根県出雲市	弥生後期後葉	B	6.1	4.8-4.4	1	置き土	2.6	1.2-1.25	0.7-0.8	2.1	組合式	2.1	0.8-0.85
19	西谷3号墓 (第4主体主棺)		弥生後期後葉	(B)	6	4.5		×	2.6	1.25	0.8	2.1	組合式	2.3	0.8
20	陵遺跡ST-02 (第1墓壇)	香川県さぬき市	弥生後期中葉	B?	—	—	—	×	2.83+	1.55		-2	?		
21	黒田古墳 (第1主体部)	京都府南丹市	古墳前期初葉	C1	10	6.5	2.5	礫床	6.5	2.5/2.7	1.5	2.5	舟形	4	0.7-1.2
22	ホケノ山古墳 (中心埋葬施設)	奈良県桜井市	古墳前期初葉	C2	10	6		礫床	6.5	2.6	(約1)	2.5	舟形	5.3	1.3
23	西神ニュータウン30-1号	兵庫県神戸市	古墳中期	C	2.7+	1.9		礫床	2+	1.4-1.6			刳抜式	1.3+	0.4
24	成岡3号墳 (第1主体)	広島県広島市	古墳前期初葉	C1	3.85	1.9	0.94	置き土	2.6	1	0.4	2.6	舟形	2.6-	1-
25	弘住3号墳	広島県広島市	古墳前期初葉	C2	4.5	3	1.3	礫床	2.7	1.2	1.2	2.3	舟形	-2	0.8
26	石塚山2号墳 (第1主体部)	香川県丸亀市	古墳前期初葉	C2	3.65	2.55	1.25	×	3.65	2.55	1.25	1.4	?	2.1	0.8
27	萩原1号墳	徳島県鳴門市	古墳前期初葉	C2	—	—	—	礫床	5.5	3		1.8	舟形	4	1.3
28	乃木山古墳 (第1埋葬施設)	福井県永平寺町	古墳前期初葉	(A [~])	7.2	4.5	1.1	×	4.7	1.4-1.6	1	2.9	組合式	3	0.7
29	片山島越5号墳 (第1埋葬)	福井県清水町	古墳前期初葉	(A [~])	3.6	2.2	0.9	×	3	1.2		2.5	組合式	2	0.5
30	神郷亀塚古墳 (第1主体)	滋賀県東近江市	古墳前期初葉?	(A [~])	—	—	—	粘土上床?	4.7	1.3	1.3	3.6	舟形	(2-2.5)	0.5
31	神郷亀塚古墳 (第2主体)		古墳前期初葉?	(A [~])	?	1.25		(棺壁)	3.5	1.1	1.1	3.2	舟形	2	0.5
32	大田南6号墳	京都府京丹後市	古墳前期後葉	A [~]	9.6	6.5	2.5	×	6.2	1.18-1.37	0.5-0.6	4.5	箱形	5.4	0.8-1.14
33	諸木古墳	鳥取県南部町	5世紀後半	A [~]	2.62		0.6-0.7	棺壁・配石	2.3	0.9		2.6	組合式	2.75	0.5
34	社日1号墳 (第1主体部)	鳥根県松江市	古墳前期初葉	(A [~])	5	1.6-2	1.1	×	3.5	0.7-0.85	0.8+	4.5	刳抜式	3	0.6

古津八幡山遺跡の動向

時代	北陸南西部編年	古墳集成編年	新潟シンポジウム編年	古津八幡山遺跡				
弥生時代中期	小松 専光寺 戸水B			環濠	竪穴建物	掘立柱建物	墓	
				—	—	—	—	
弥生時代後期	1群	V-1群	1期	集落の出現 外環濠の掘削	SI802・SI821 SI0603 SI03S03 SI03S05 SI0602 SI728 SI03S06 SI03N03	掘立柱建物群？	方形周溝墓	
		V-2群					猫橋式	SX1005
		V-3群						SX1006
	2群	2-1群	2期				SX1004	
		2-2群					法仏式	SZ743 (大型方形周溝墓) SZ822
	3群	月影式	3期				環濠が上層まで埋没 ⇒一部再掘削？ 内環濠掘削？	
早期(古墳時代終末)	4群	白江式	4期	大型竪穴建物(SI1) 竪穴住居(SI465)				
	5群		5期	高地性集落の廃絶、平地での集落の出現			前方後方形周溝墓 (SX03S14)？	
	6群		6期					
古墳時代前期	7群	古府クルビ式	1期	7期				
	8群		2期	8期				
	9群	高畠式	3期	9期				
	10群		4期	10期			↓古津八幡山古墳 (古墳中期)	

※赤字は平成29年以降の調査で見つかった遺構

古津八幡山遺跡 遺構平面図



- 墓
- 環濠・周濠
- 竖穴建物
- ※竖穴建物: 66棟



おわり

異ジャンルの掛け合わせ、最大公約数は「身近さ」



栗松勝男《花鳥・会津藩田町 ソメイヨシノ》1982年 新潟市芸術美術会蔵 © Shomei Tomatsu - INTERFACE

弥生の丘展示館開館10周年記念／新潟市新津美術館開館25周年記念／古津八幡山遺跡発見35周年記念

美術と考古でみる、 ここらへんの生活。

2023年1/14(土)～3/12(日)

開館時間／午前10時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)

休館日／月曜日(2月20日、3月6日は開館)

観覧料／一般500円 大学・高校生300円 中学生以下無料

① 2023年1月14日(土)～19日(木) 開館
② 2023年2月5日(日)～19日(木) 開館
③ 2023年3月12日(日)～19日(木) 開館
※ 2023年3月12日(日)～19日(木)は、弥生の丘展示館開館10周年記念として、観覧料を無料とさせていただきます。
※ 観覧券は1枚につき1回限り1年間有効。

主催／新潟市新津美術館 共催／新潟市文化財センター



新潟市新津美術館

〒952-8581 新潟県新津市大町1-1-1 弥生の丘展示館 新潟市新津美術館
TEL: 025-378-0480 FAX: 025-378-0481 新潟市文化財センター



小島竹彦《北国の暮色》1971年 新潟市新津美術館蔵

関連イベント

※新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。最新の情報は、当館ウェブサイトをご確認いただくか、お問合せください。

● 講演会「わたしの考古学とアート」

講師／橋本 博文氏(新潟大学名誉教授)
日時／3月5日(日) 午後2時～3時30分(午後1時30分開場)
会場／新津美術館 レクチャールーム

聴講無料・先着50名・事前申込不要

● クロストーク

展示資料について、文化財センター・美術館両館の学芸員が各々の視点から解説します。

話し手／相田 泰臣氏(新潟市文化財センター学芸員)、星野 立子(当館学芸員)
日時／3月4日(土) 午後2時～(約40分)
会場／新津美術館

聴講無料・先着50名・事前申込不要

《史跡 古津八幡山 弥生の丘展示館》のご案内

● 企画展「古津八幡山遺跡の過去・現在・未来」(3月12日まで)

新潟市秋葉区蒲ヶ沢264(当館より徒歩3分) TEL:0250-21-4133
休館日／月曜日・1月17日(火)～19日(木)、2月14日(火)・24日(金) **観覧無料**

● 関連講演会「新津の山に大きな遺跡と古墳があった! —歴史を変えた古津八幡山遺跡—」

講師／坂井 秀弥氏(新潟市歴史博物館館長・奈良大学名誉教授)
日時／2月5日(日) 午後1時30分～3時30分
会場／新津美術館 レクチャールーム

● 新潟市遺跡発掘調査速報会2022

日時／2月26日(日) 午後1時～3時50分
会場／新潟市民プラザ(新潟市中央区NEXT21ビル6階)

要事前申込・詳細は「新潟市文化財センター」まで(TEL:025-378-0480)